

# 環境経済部

環境政策課

生活環境課

農林課

商工振興課

観光まちづくり推進課

環境政策課 環境政策係

1 環境施策推進事業

あきる野市環境基本計画に基づく環境施策の推進や、市民及び市内事業所への環境対策の普及啓発事業を実施した。

(1) あきる野市環境審議会の運営

環境政策にかかる条例について審議した。

開催日	内容
平成29年 4月11日	あきる野市生物多様性保全条例（案）について（諮問）
5月26日	あきる野市生物多様性保全条例（案）について（答申）

(2) あきる野市都市環境審議会の運営

都市環境に重大な影響を及ぼすと考えられる案件を審議するが、諮問案件がなかったため、開催なし。

(3) あきる野市環境委員会の運営

ア あきる野市環境基本計画に掲げる事業の進捗状況の点検評価や、市、市民及び事業者の協働による取組の企画・推進を行った。

開催日	内容
平成29年 4月17日	会議 1 平成28年度実績及び平成29年度活動スケジュールについて 2 平成29年度施策進捗状況調査について 3 第6回グリーンカーテンコンテストについて 4 リサイクルフェアにおけるゴーヤの苗・種の配布について 5 今後の「知る」活動について
5月13日	リサイクルフェア（環境啓発コーナー）参加 1 グリーンカーテン用植物の苗・種の配布 2 グリーンカーテン啓発チラシ等の配布 3 緑の募金の呼びかけ
6月20日	会議 1 グリーンカーテンコンテスト及び写真募集について 2 環境基本計画施策進捗状況の点検について
8月 9日 10日	第6回グリーンカーテンコンテストの現地確認
8月23日	会議 1 環境基本計画施策進捗状況の点検評価の確認について 2 環境基本計画等に対する環境委員会からの意見のとりまとめについて 3 環境白書第2章の構成について 4 グリーンカーテンコンテスト及び写真募集について
9月13日	グリーンカーテンコンテスト審査会の開催
9月25日	会議 1 グリーンカーテンコンテストの審査結果について 2 環境白書について
10月23日	会議 1 環境委員会として推進する活動について 2 環境委員会の活動（「知る」活動）について
11月12日	第6回グリーンカーテンコンテスト入賞者表彰（産業祭会場）
平成30年 1月31日	会議 環境フェスティバルの出展について
2月15日	「知る」活動 東京スイソミル、えこっくる江東の見学、省エネセミナーの受講等

イ 業務委託

件名	内容	委託料(円)
環境白書作成業務	環境白書の作成支援	993,600

(4) あきる野市自然環境調査の実施

生きもの会議の下部組織として自然環境調査部会を組織し、各班において自然環境調査を行うとともに、保全に関する検討を行った。

ア あきる野市自然環境調査部会の運営

開催日	内容
平成29年 5月22日	会議 1 平成28年度活動報告及び決算について 2 平成29年度活動計画及び予算について
8月28日	会議 1 自然環境調査部会の規約の改正について 2 郷土の恵みの森づくり事業との連携について
1月22日	会議 1 平成29年度の活動報告及び決算の作成について 2 平成30年度の活動計画及び予算の作成について 3 生物多様性保全条例の施行に伴う自然環境調査について 4 あきる野市版レッドリストの作成について

イ 業務委託

件名	委託料(円)
自然環境調査業務	574,000

(5) 港区環境交流事業の実施

あきる野市と港区の子どもたちが、互いの異なる自然環境について理解を深めるため、両自治体が交互開催で交流会を行っている。

開催日	内容	会場
平成29年 8月 2日	「東京スイソミル見学と自然教育園での生き物観察」 参加者 1 あきる野市15人(小学3、4年生) 2 港区 15人(小学3、4年生)	水素情報館東京スイソミル、国立科学博物館附属自然教育園

(6) グリーンカーテン普及事業の実施

省エネ対策や夏の節電対策として効果のあるグリーンカーテンの普及啓発を行った。

ア グリーンカーテン用植物の苗・種の市民配布

リサイクルフェア会場内において、環境委員会と共同で、グリーンカーテン講習会の参加者及び環境啓発コーナーにおけるグリーンカーテンの展示の来場者に対し、植物の苗・種を配布した。また、図書館等の公共施設において植物の種の市民配布を行った。

配布日	内容
平成29年 5月13日	リサイクルフェア(環境啓発コーナー) 1 ゴーヤ苗の配布 750ポット(1人3ポット、250人) 2 アサガオ種の配布 347袋(1人1袋、約15粒入) リサイクルフェア(グリーンカーテン講習会) 1 ゴーヤ苗の配布 54ポット(1人3ポット、18人)
平成29年 4月27日 から種がなくなるまで	公共施設への設置(本庁舎、五日市出張所、中央図書館、中央図書館増戸分室、東部図書館エル、五日市図書館、中央公民館、社会福祉協議会五日市事務所) 1 ゴーヤ種の配布 640袋(1人1袋、約12粒入) 2 アサガオ種の配布 100袋(1人1袋、約15粒入)

イ グリーンカーテン講習会の実施

リサイクルフェア会場内において、環境委員会と共同で、グリーンカーテンの育て方の講習会を行った。

開催日	内容
平成29年 5月13日	グリーンカーテンを上手につくるコツを経験談から学ぶ講習会 参加者 18人

ウ 公共施設でのグリーンカーテンの実施

子どもたちを始め市民への普及啓発のため、本庁舎や学校給食センター、郷土館、保育園等にゴーヤの苗・種を配布し、グリーンカーテンの実施を促進した。

エ グリーンカーテンコンテストの実施

市民及び市内事業者への普及啓発の一環として、環境委員会と共同でグリーンカーテンコンテストを実施した。

平成29年11月12日開催の産業祭会場において受賞者の表彰を行い、賞状と副賞を贈呈するとともに、取組内容（写真等）について、環境展（産業祭エココーナー）、市ホームページ、市役所1階コミュニティホール、五日市出張所1階ロビーで展示した。

部門名	参加件数	入賞
住宅部門（個人）	18	最優秀賞 1件、優秀賞 4件、新人賞 1件、特別賞 2件
団体部門	8	最優秀賞 1件、優秀賞 1件、特別賞 1件

(7) エコドライブの推進

安全運転とともに、二酸化炭素排出量の少ない運転となるエコドライブの普及事業を実施した。

ア 「わたしのエコドライブ宣言」の実施

「わたしのエコドライブ宣言」の参加者に、車両貼付用エコドライブ啓発マグネットシートを配布するとともに、既にエコドライブ宣言をした方のマグネットシート貼付写真を市ホームページに掲載して、「エコドライブの輪」の拡大に努めた。

(ア) 参加者数 16人

イ 普及啓発の取組

エコドライブの普及のため、庁用自動車にエコドライブ啓発ステッカーの貼付を行うとともに、市職員が市民の模範となるよう、給油時の記録による庁用自動車の燃費把握を行った。

(8) 小さな子どものおさんぽ会の実施

小さな子どもたちに、当市の恵まれた自然とじっくり向き合う機会を提供し、当市の自然環境の担い手となる人材を育成するため、環境委員会の下部組織である「森のようちえん部会」の主催により、未就学児とその保護者を対象とした「小さな子どものおさんぽ会」や、これまでの参加者を対象とした「小さな子どものおさんぽ会」（特別企画）を実施した。

ア 「小さな子どものおさんぽ会」の実施

開催日	場所	参加者数
平成29年 4月16日	鯉川	9組 25人
5月14日	大澄山	8組 24人
6月18日	横沢入里山保全地域	8組 20人
7月17日	平井川	10組 28人
9月10日	小宮ふるさと自然体験学校	10組 30人
11月19日	瀬戸岡歴史環境保全地域	3組 9人

イ 「小さな子どものおさんぽ会」（特別企画）の実施

開 催 日	場 所	参 加 者 数
平成29年 8月20日	小峰公園	8組23人
平成30年 1月21日	小宮ふるさと自然体験学校	9組28人

2 ふるさとの緑地に関する事業

豊かな緑を確保するとともに、良好な緑地環境を維持するため、あきる野市緑地保全審議会の運営、保存緑地の管理、緑化指導等を行った。

(1) あきる野市緑地保全審議会の運営

緑の保全と緑化の推進に寄与する保存緑地の指定に関し、審議するが、審議案件がなかったため、開催なし。

(2) 保存緑地制度の運用

保存緑地制度の運用により、市内の良好な緑の確保に努めた。

ア 保存緑地等の管理

市の管理する保存緑地及び緑地について、業務委託等により、剪定、整理伐採等を行い、適正な状態を維持した。

件 名	内 容	委 託 料 (円)
緑地等管理業務	剪定、整理伐採及び補修工事 33件	5,632,632

イ 保存緑地補助金の交付

保存緑地に指定された樹林地及び屋敷林の管理に対する補助金と、樹木の枯死等を防止するための経費に対する補助金を交付した。

件 名	内 容	補 助 金 額 (円)
保存緑地樹林地補助金	3か所 7,677.4㎡	155,914
保存緑地屋敷林補助金	1件	10,000
樹木管理費補助金	2件	200,000

(3) 緑化の指導等

ア ふるさとの緑地保全条例に基づく指導

500㎡以上の面積の敷地における建築物、工作物等の設置や、宅地造成その他土地の区画形質の変更の行為に対し緑化の指導を行い、届出書を受理した。

(ア) 緑化計画書の届出 11件

(イ) 宅地造成等に関する届出 19件

イ 工場立地法の届出

工場立地法による特定工場の新設や増設などに伴い、工場立地法及び工場立地法地域準則条例に基づき、緑地の確保等の指導を行い、届出書を受理などを行う。

新設、変更又は廃止の届出がなかったため、受理件数なし。

(4) 横沢入里山保全事業

里山保全地域に指定されている横沢入地区の管理運営事業を実施した。

ア 横沢入里山保全地域運営協議会への出席

ボランティア、地域住民、農林業団体、東京都、市等で構成される協議会に参画し、管理運営に必要な協議を行った。

開催日	内容
平成29年 5月26日	1 平成28年度活動報告及び平成29年度活動計画 2 アライグマ被害対策について 3 平成29年度ホタル対応について 4 東京都環境公社の業務について 5 樹林地管理について

#### イ 拠点施設等の管理

東京都からの委託により、横沢入地区の拠点施設等の管理を実施した。

#### ウ 業務委託

件名	内容	委託料(円)
里山保全地域管理業務	1 利用者や自然環境の状況等の確認のための保守巡回 2 草刈・不法投棄物・一般ごみ回収などの保守管理	2,084,400
拠点施設管理・清掃等業務	1 拠点施設のトイレの開錠及び施錠等 2 施設内のトイレの清掃 3 施設内の清掃	855,306
浄化槽保守点検業務	1 浄化槽の維持管理 2 浄化槽の汚泥汲取り及び清掃	80,676
支障木伐採等業務	1 地区内の支障樹木、枝等の剪定及び伐採 2 土留柵の作成 3 歩道の整備 4 流路の作成 5 落ち葉溜めの作成 6 アシナガバチの巣の駆除	671,328

### 3 生物多様性保全事業

市内の自然環境の保全と活用を図るに当たり、生物多様性あきる野戦略に基づき、生態系の保全のため、あきる野市生きもの会議を運営するとともに、外来生物対策等を実施した。

#### (1) あきる野市生きもの会議の運営

生物多様性あきる野戦略の推進のため、市内に生息し、又は生育する希少生物の保全方策等の検討を行った。

開催日	内容
平成29年 8月22日	会議 1 レッドリストとは 2 あきる野市版レッドリストについて
12月21日	会議 1 レッドリストの作成について 2 あきる野市版レッドリストの作成について

#### (2) あきる野市版レッドリストの作成

あきる野市版レッドリストの作成のため、生きもの会議の下部組織として「哺乳類部会」を設置し、あきる野市版レッドリスト（哺乳類）の検討を行った。

開催日	内容
平成30年 2月16日	会議 1 あきる野市版レッドリスト（哺乳類）原案の作成について
3月 2日	会議 1 あきる野市版レッドリスト（哺乳類）原案の作成について

#### (3) 外来生物対策の実施

生態系に被害を与えている外来種（アライグマ、ハクビシン、オオキンケイギク、オオブタクサ、アレチウリ、クビアカツヤカミキリ）について、対策を実施した。

ア アライグマ及びハクビシン対策

あきる野市自然環境調査部会、森林レンジャーあきる野の調査結果及び市民による目撃情報を基に生息場所を特定し、町内会・自治会、地権者等の協力の下、市内全域で捕獲を行った。

実施日	内容
平成29年4月1日 ～平成30年3月31日	1 実施箇所等 わな設置箇所 20地区 67か所 ※ 1か所について、1～3地点実施 2 捕獲実績 (1) アライグマ 30頭 (2) ハクビシン 13頭

イ オオキンケイギク、オオブタクサ及びアレチウリの対策

あきる野市自然環境調査部会、森林レンジャーあきる野の調査結果及び市民による目撃情報を基に生育場所を特定し、地権者等に除草を呼びかけた。

種別	実施日	分布情報件数
オオキンケイギク	平成29年5月1日 ～平成30年3月31日	95
オオブタクサ	平成29年7月1日 ～平成30年3月31日	159
アレチウリ	平成29年8月1日 ～平成30年3月31日	81

ウ クビアカツヤカミキリの対策

(ア) 市職員による公共施設の調査結果及び市民による目撃情報を基に寄生場所を特定し、成虫の捕殺及び幼虫の駆除を行った。

(イ) 業務委託

件名	内容	委託料(円)
防除方法に関する研究業務	1 寄生木への薬剤注入による幼虫の駆除率の把握 2 寄生木へのネット掛けによる成虫の捕獲率の把握 3 寄生木への微生物防除剤の敷設による成虫の駆除率の把握	1,332,000
成虫捕獲業務	1 サクラの木の見回り 2 クビアカツヤカミキリの捕獲	129,600
成虫飛翔防止用ネット敷設業務	1 サクラの木のネット掛け 2 サクラの木のネット外し	289,440
被害木の伐採・抜根業務	1 被害木の伐採及び抜根 2 伐採した樹木の破砕及び廃棄	1,836,000

4 地球温暖化対策事業

あきる野市地球温暖化対策地域推進計画及びあきる野市第三次地球温暖化防止対策実行計画に基づく取組を推進した。

(1) 温室効果ガス排出量等の集計

ア 第三次地球温暖化防止対策実行計画に基づき、市施設の光熱水及び冷媒封入設備の状況、用紙購入量等の管理を行い、温室効果ガスの排出抑制を推進した。

イ 業務委託

件名	内容	委託料(円)
地球温暖化防止対策進行管理集計業務	温室効果ガスの総排出量その他環境負荷及び計画の目標達成の状況などの点検 1 本年度実績の調査 2 前年度の実績値の全体集計 3 課・施設別点検報告	939,600

(2) 新エネルギー・省エネルギー機器設置費補助金の交付

住宅用新エネルギー・省エネルギー機器の普及促進及び省エネルギーに関する意識の向上を図るため、住宅に機器を設置する者に対し、その費用の一部の補助を行った。

機 器	設置基数	補助金額(円)
太陽光発電システム	20	1,483,000
CO2冷媒ヒートポンプ給湯器(エコキュート)	5	150,000

(3) 省エネ推進の取組

省エネモニターに登録している市民の家庭のデータを基にした二酸化炭素排出量のほか、省エネ型生活10か条、環境家計簿の取組などを市ホームページ等で紹介し、市民の省エネに向けた意識啓発を図った。

ア 省エネモニターの推進

省エネモニターに登録し、データを提供していただいた市民の家庭(131世帯)について、月々の二酸化炭素排出量を計算したグラフ等を作成し、各家庭に送付するとともに、登録世帯の二酸化炭素排出量、各エネルギー使用量の平均値などを算出し、省エネモニターの方が実施している「私のひと工夫」と併せて、市ホームページにより市民に周知した。

イ 省エネ型生活10か条、環境家計簿の取組の推進

省エネの代表的な取組を示す「省エネ型生活10か条」やエネルギー消費量を入力することで、各家庭の二酸化炭素排出量を知ることができる「環境家計簿」の取組を市ホームページ等により周知した。

(4) 第四次あきる野市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の策定

ア 国の温室効果ガス削減目標が更新されたことや、第三次計画の目標達成が既に確実であること等から、第四次あきる野市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)を策定した。

イ 業務委託

件 名	内 容	委 託 料(円)
地球温暖化対策地方公共団体実行計画(事務事業編)改定業務委託	1 現行計画の進捗状況の調査	9,936,000
	2 市有施設における設備管理・運転状況の確認	
	3 市有施設への省エネルギー診断の実施	
	4 推進方策の検討	
	5 あきる野市エコ活動のあり方の検討	
	6 国や都の地球温暖化対策等の動向把握	
	7 次期事務事業編策定支援	
	8 各種会議の対応支援	



1 郷土の恵みの森づくり

郷土の恵みの森構想及び生物多様性地域連携保全活動計画に基づく地域との協働の森づくりとして、町内会・自治会等が主体となり取り組んでいる昔道や尾根道の補修、景観の整備等を行う郷土の恵みの森づくり事業に対して交付金を交付した。平成29年度は、15の町内会・自治会等により23か所で事業が実施された。

(1) 昔道・尾根道補修等事業

町内会・自治会等	内 容	期間 (年目)	距離 (k m)	階段 (m)	標識 (か所)	金 額 (円)
深沢自治会	大カシ・堀田尾根道整備事業	8	3.8	200	15	130,700
	大杉への探索路整備事業	5	0.6	100	7	75,180
自然を昔に戻す会	日向峰道補修等事業	8	1.5	0	0	37,800
養沢自治会	サルギ尾根登山道補修事業	8	3.0	0	11	97,900
	大野道補修事業	5	1.4	200	2	150,840
三内自治会	天竺山周辺散策道整備事業	8	1.2	0	0	36,960
樽自治会	金比羅山接続登山道整備事業	7	0.6	50	5	18,880
菅生町内会	菅生南尾根周遊道整備事業	7	4.0	0	11	83,100
	菅生北尾根周遊道整備事業	8	3.8	0	13	80,220
合 計		—	19.9	550	64	711,580

(2) 景観整備事業

町内会・自治会等	内 容	期間 (年目)	金 額(円)
深沢自治会	深沢川周辺景観整備事業	8	150,000
	南沢地区景観整備事業	8	150,000
軍道自治会	軍道地区石原沢景観整備事業	8	150,000
	軍道地区まがめひろば景観整備事業	5	100,000
乙津自治会	乙津地内景観整備事業	7	150,000
落合自治会	加茂原周辺景観整備事業	7	150,000
青木平自治会	西青木平橋周辺景観整備事業	7	150,000
寺岡自治会	二反坂周辺景観整備事業	7	150,000
山下自治会	堂沢周辺景観整備事業	7	150,000
小机自治会	まいまい坂周辺景観整備事業	7	150,000
網代自治会	弁天山公園周辺景観整備事業	4	300,000
自然を昔に戻す会	長岳尾根周辺景観整備事業	3	300,000
	日向峰地内景観整備事業	3	100,000
北郷いさぐり会	北郷いさぐり地区景観整備事業	2	300,000
合 計		—	2,450,000

(3) イベントの実施・参加等

ア 森林レンジャーあきる野ツアー

(ア) 野生動物の痕跡と八百万の神を探す—協働の道・網代から高尾へ—

網代自治会と高尾自治会の整備により、つながった道「網代谷津田—貴志嶋神社—弁天山—城山—高尾神社」を利用し、地域の方から教えていただいた見所や野生動物の痕跡を解説した。出発時、小雨が降っていたこともあり、参加を見送った人が多かったため、参加者は少数であった。

実施日 平成29年4月8日

参加者 7人

(イ) あきる野の河原で鳥獣観察

冬鳥の楽園、秋川・多摩川の河原を散策しながら、冬の秋川のアイドル「ミコアイサ」、河原のハンター「ニホンイタチ」、里山の王者「オオタカ」などの観察会を行った。

実施日 平成30年2月18日

参加者 11人

イ GTF (グレートウキョウフェスティバル) グリーンチャレンジデー及びエコプロ2017

平成29年9月30日、10月1日の2日間、新宿御苑で開催されたGTFグリーンチャレンジデー及び平成29年12月7日から9日までの3日間、東京ビッグサイトで開催されたオール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」におけるエコプロ2017に出展し、郷土の恵みの森づくり事業やあきる野市の多様な自然環境をPRした。

ウ 環境学習

都立五日市高校総合学習「地球環境」講演

実施日 平成29年4月19日

場 所 都立五日市高校 視聴覚室

内 容 都立五日市高校2年生の総合学習「地球環境」の一環で、健全な森づくり、健全な森における生物多様性などについて、森林レンジャーあきる野が講演を行った。

参加者 都立五日市高校2年生 158人

(4) その他の事業

平成29年5月13日に開催した第44回あきる野市リサイクルフェアにおいて、森林レンジャーあきる野が調査を進めている市内の動植物や滝・沢、巨木などの地域資源の写真展示を行った。

また、市内全小学校の校外学習や「新宿の森・あきる野」自然体験ツアーに森林レンジャーあきる野が同行し、自然環境や生物の多様性について解説した。

2 森林レンジャーあきる野

(1) 森林レンジャーあきる野

郷土の恵みの森構想に基づく森づくりをより具体的に進めるため、平成22年5月に専門知識を持つ4人で組織する「森林レンジャーあきる野」を設置した。平成29年度からは、森林レンジャーあきる野の1人がこれまでの経験と知識、技術を活かす場として、小宮ふるさと自然体験学校の校長に就任したため、現在は3人で活動を行っている。

森林レンジャーあきる野は、町内会・自治会等が行う昔道や尾根道の補修、景観の整備等を地域と協働で実施している。また、登山道や山林地帯を巡視し、整備・補修するとともに、市内に生息する動植物の調査、滝や沢、巨木などの地域資源の掘り起こしなども行っている。さらに、地域の森づくりに関連した自然環境体験イベントの開催など、森とその周辺にある地域資源の持つ魅力を市内外に向けて発信している。

## (2) 活動状況

実施日	内 容	参加者数
平成29年 4月 8日	森林レンジャーあきる野ツアー 野生動物の痕跡と八百万の神を探す一協働の道・網代から高尾へ	7
4月13日	増戸小学校4年生校外学習	89
4月18日	五日市小学校4年生校外学習	90
4月19日	都立五日市高校総合学習「地球環境」講演	158
4月29日	深沢川周辺景観整備事業（深沢地区）	20
5月 7日	子どもが主役のオオムラサキの森活動	10
5月13日	第44回あきる野市リサイクルフェア	—
5月27日	木こり講座	30
5月30日	前田小学校3年生校外学習	49
6月 2日	屋城小学校3年生校外学習	48
6月10日	木こり講座	15
7月 2日	木こり講座	14
7月 3日	長岳尾根周辺景観整備事業（乙津地区）	15
7月 7日	日向峰地内景観整備事業（戸倉地区）	14
7月16日	二反坂周辺景観整備事業（寺岡地区）	13
8月 5日	木こり講座	12
8月19日	深沢川周辺景観整備事業（深沢地区）	13
9月 8日	一の谷小学校3年生校外学習	33
9月 9日	木こり講座	12
9月14日	西秋留小学校3年生校外学習	68
9月26日	多西小学校3年生校外学習	103
9月30日、10月1日	GTFグリーンチャレンジデー2017（新宿御苑）	—
10月 1日	子どもが主役のオオムラサキの森活動	14
10月 5日	日向峰地内景観整備事業（戸倉地区）	8
10月10日	草花小学校3年生校外学習	147
10月19日	増戸小学校4年生校外学習	89
10月28日	二反坂周辺景観整備事業（寺岡地区）	13
10月30日	長岳尾根周辺景観整備事業（乙津地区）	15
10月31日	南秋留小学校3年生校外学習	91
11月 2日	東秋留小学校4年生校外学習	99
11月11日	木こり講座	12
11月12日	子どもが主役のオオムラサキの森活動	16
11月13日	サルギ尾根登山道補修事業（養沢地区）	9
11月18日	新宿の森イベント（戸倉盆堀地区）	38
11月21日、22日	大野道補修事業（養沢地区）	9
11月25日	木こり講座	10
12月 3日	子どもが主役のオオムラサキの森活動	15
12月16日	深沢川周辺景観整備事業（深沢地区）	12
12月16日	木こり講座	11
平成30年 1月10日	木こり講座	10
1月20日	木こり講座	13
2月17日	木こり講座	7
2月18日	森林レンジャーあきる野ツアー あきる野の河原で鳥獣観察	11
2月25日	木こり講座	15
3月 4日	子どもが主役のオオムラサキの森活動	13
3月18日	加茂原周辺景観整備事業（落合地区）	21

### 3 森林サポートレンジャーあきる野

郷土の恵みの森構想の実現に向け、町内会・自治会等との協働により郷土の恵みの森づくりを進めるため、市職員及び市民等による「森林サポートレンジャーあきる野」を設置しており、町内会・自治会等が行う尾根道の補修、景観の向上等の森づくり事業の支援活動を行った。

#### (1) 隊員の構成

ア 人数 109人（平成30年3月31日現在）

イ 内訳

（ア）市職員 53人

（イ）市民 29人（うち企業2社4人）

（ウ）市民以外 27人

#### (2) 活動状況

実施日	内容	参加者数
平成29年 4月29日	深沢川周辺景観整備事業（深沢地区）	14
5月21日	加茂原周辺景観整備事業（落合地区）	6
7月9日	加茂原周辺景観整備事業（落合地区）	7
7月16日	二反坂周辺景観整備事業（寺岡地区）	6
8月19日	深沢川周辺景観整備事業（深沢地区）	8
10月1日	加茂原周辺景観整備事業（落合地区）	2
10月28日	二反坂周辺景観整備事業（寺岡地区）	7
12月9日	大カシ・堀田尾根道整備事業（深沢地区）	6
12月16日	深沢川周辺景観整備事業（深沢地区）	9
平成30年 2月25日	菅生南尾根・北尾根周遊道整備事業（菅生地区）	5
3月18日	加茂原周辺景観整備事業（落合地区）	7
合計		77

### 4 森の子コレンジャー

森づくりの推進役である森林レンジャーあきる野と一緒に、あきる野の自然と文化を守り引き継いでいく郷土愛を持った人材を育てることを目的に、第7期森の子コレンジャー（公募で募集した小学4年生から6年生までの18人）が1年間活動した。

また、森の子コレンジャーOBによる同窓会として、自分たちが活動した森などの整備を行った。

さらに、森の子コレンジャーを東京都緑の少年団に登録し、平成30年に東京都で開催される全国育樹祭に関連する各種行事に協力することとなった。

#### (1) 第7期活動状況

実施日	内容
平成29年 5月16日	森の子コレンジャー保護者説明会（五日市出張所） ・年間の活動計画と活動方針について
5月21日	始動式、森の散策（小宮ふるさと自然体験学校周辺）
6月11日	調査（森、痕跡、鳥、植物・昆虫）（小宮ふるさと自然体験学校周辺）
7月9日	調査（森、痕跡、鳥、植物・昆虫）（小宮ふるさと自然体験学校周辺）
8月6日	どんぐり豊凶調査（有志：落合地区及び小宮ふるさと自然体験学校周辺）
9月3日	どんぐり豊凶調査等（落合地区及び小宮ふるさと自然体験学校周辺）
11月19日	地形図を読図しての梵天山登山（深沢地区）
12月10日	ビオトープと昔道の整備（小宮地区）

実施日	内 容
12月26日	外来種（アメリカザリガニ）捕獲作戦（有志：菅生地区）
平成30年 1月13日	東京都緑の少年団交流大会（多摩市）
1月14日	調査（森、痕跡、鳥、植物・昆虫）（小宮ふるさと自然体験学校周辺）
2月10日	調査（痕跡、樹木、鳥、植物）（小宮ふるさと自然体験学校周辺）
3月11日	森の調査とビオトープ整備、終了式（小宮ふるさと自然体験学校及び周辺）

(2) 同窓会活動

実施日	内 容
平成29年 7月23日	第3、4、5期同窓会（戸倉地区で森の整備）
11月23日	第3、4、5、6期同窓会（ビオトープと昔道整備）

5 小宮ふるさと自然体験学校の運営

平成24年3月31日をもって閉校となった小宮小学校を、子どもたちを中心に自然とのふれあいや環境学習の場として提供することにより、心豊かな人間性を育むとともに、地域の活性化を図るための拠点施設とするため、小宮ふるさと自然体験学校を平成24年9月1日に開校した。

本施設を拠点として、主に幼児や小学生を対象とした各種の自然体験事業等を実施している。また、あきる野市小宮ふるさと自然体験学校の設置及び管理に関する条例を平成27年7月1日に施行しており、貸出施設として各団体に使用されている。

(1) 自然体験事業等

内 容	利用人数
あきる野市の自然体験事業（森っこサンちゃんクラブ等）	156
市内小中学校の自然体験事業	817
その他、学校等の体験事業	97
団体の自然体験事業（市内の団体）	758
団体の自然体験事業（市外の団体）	493
森の子コレンジャー	133
見学（校内見学）等	160
合 計	2,614

(2) その他イベント等

内 容	利用人数
ふれあい交流事業	761
施設の貸出し	1,167
その他（自然体験事業下見等）	277
合 計	2,205

6 産学公の取組

(1) 産学公連携による森づくり

郷土の恵みの森構想等に基づき、菅生地区で取り組む森林の保全・活用及び地域の活性化についての調査・研究並びにこれらの活動及びその担い手の育成などについて、平成23年7月13日、「NECフィールドディング株式会社、明星大学及びあきる野市との連携による自然環境保全活動等に関する協定書」を締結し、産学公が連携して取り組んでいる。

菅生大沢地区の市が所有する山林では、豊かな里山へ再生することを最終目的として、ワークショップ方式で多様な意見を取り入れながら、整備が進められている。

(2) あきる野菅生の森づくり協議会

協定書に基づく森づくりの取組を具体的に進めていくため、平成23年8月8日、菅生町内会、明星大学、NECフィールドディング株式会社、あきる野青年会議所、特定非営利活動法人ふるさとの森づくりセンター及びあきる野市により「あきる野菅生の森づくり協議会」が設置された。平成24年度からは、この協議会に西多摩マウンテンバイク友の会が加わり、菅生地区で取り組む里地活性化事業や里山活性化事業の検討等を行うとともに、各種事業を実施した。

開催日	内容
平成29年 5月18日	第18回協議会 1 平成28年度事業報告について 2 平成28年度決算報告について 3 平成29年度事業計画(案)について 4 平成29年度補助金申請状況について 5 平成29年度予算(案)について 6 その他
12月13日	第19回協議会 1 平成29年度事業の実施状況(4月~11月)について 2 今後の事業予定(12月~3月)について 3 その他

(3) 里地活性化事業

農産物の特産化について

高齢化や後継者不足等により耕作や手入れがされなくなった農地等を活用し、菅生地区の気候風土に適した農作物について、流通を意識して生産することにより、地域住民の連帯や経済的な助けとなるよう農産物の特産化に取り組んだ。

平成29年度は、菅生野菜として、トマト(フルティカ・アイコ・カンパリ等)、シイタケを中心に51種類を生産して販売をした。また、地域の方からナメコ等の野菜を仕入れて販売するとともに、新たに放置されていた栗畑の草刈りを行い、収穫及び販売に繋げた。

販売先については、畑と協議会ハウスの直売所、市役所1階の福祉喫茶「トライアングル」のほか、市内のクリーニング屋「シルク」でも取扱いをしていただき、販路の拡大に努めた。

農作業については、特定非営利活動法人ふるさとの森づくりセンターのほか、NECフィールドディング竹取物語OB会の5名が週3日(月・火・木)のほか、必要に応じて随時実施している。

(4) 里山活性化事業

ア ワークショップ(保全活動と育成)について

あきる野市が所有する菅生大沢地区の山林を豊かな里山へ再生するため、ワークショップ形式で利活用の検討を進めるとともに、下草刈りや低木類の伐採作業などを行った。

また、地元、菅生町内会の方を招いて、植樹したサクラのお花見会を開催した。

開催日	内容
平成29年 4月22日	東側林内の低木類の伐採及び散策路づくり
4月23日	植樹したサクラの開花に合わせて菅生町内会の方や関係者を招いてお花見会を開催し、親睦を深めた。
5月14日	東側林内の低木類の伐採及び散策路づくり
6月 4日	明星大学の「環境基礎ゼミ」野外学習を実施した。 竹取物語と西多摩マウンテンバイク友の会の指導により、緑の質を高め生態系に配慮した樹林の再生と斜面地の植生の適正管理を目的に、斜面地の草刈りとコナラ林に繁茂する低木類の伐採などの作業を行った。
6月11日	東側林内の低木類の伐採及び散策路づくり

開催日	内容
7月 9日	東側林内の低木類の伐採及び散策路づくり
9月 2日	大沢地区の整備状況と今後の整備について、菅生町内会の方や大沢で作業に関わっている人が参加し、意見交換を行った。
9月10日	東側林内の低木類の伐採及び散策路づくり
10月 9日	東側林内の低木類の伐採及び散策路づくり
11月12日	東側林内の低木類の伐採及び散策路づくり
12月 2日	駐車スペースを確保できるか確認するため、入口西側の斜面の草刈り作業を行った。
12月10日	東側林内の低木類の伐採及び散策路づくり
平成30年 1月14日	東側林内の低木類の伐採及び散策路づくり
1月16、30日	刈払機の安全衛生講習会を受講した。(各1人)
2月12日	東側林内の低木類の伐採及び散策路づくり
3月 3日	入口東側の斜面の樹林整備と粗朶柵を設置し、雨水等の流れを緩和させる作業を行った。
3月11日	東側林内の低木類の伐採及び散策路づくり

#### イ 自然環境教育について

体験事業や講座を通じて、森づくりや自然環境保全等の担い手を育成するため、環境教育イベントを実施した。

##### (ア) 菅生子どもの森広場

次世代を担う心豊かな子どもたちを育てるための体験の場として、里山とふれあいながら森や川での生き物探しや森での遊び、オオムラサキの舞う里山に向けた再生活動などの自然体験活動を行った(公募による小学3年生から6年生までの17人)。

開催日	内容
平成29年 5月14日	食べられる野草摘みと天ぷらづくり
7月23日	川の生き物探し
9月10日	森や野原で昆虫探し
11月19日	火おこしから始める森のバームクーヘンづくりとエノキの植樹
平成30年 1月21日	竹細工による作品づくり
3月18日	椎茸の駒打ち体験

##### (イ) 子どもが主役のオオムラサキの森活動

開催日	内容
平成29年 4月 2日	竹の伐採と今後作業道となる箇所の下草刈りなどを行った。
5月 7日	竹の伐採と今後作業道となる箇所の下草刈りなどを行った。
6月10日	初参加の子ども達に対して、竹の伐採及び枝払いの方法を説明し、伐採体験を行った。また、隣接する子どもの森広場にある遊具の点検及び補修を行った。
7月 2日	竹の伐採と遊具の補修を行った。
8月 5日	竹の伐採及び枝払いを行った。また、昆虫や植物の観察を行った。
9月 9日	南斜面の雑草木の刈払いを行った。また、遊具の補修や新たな遊具としてのターザンロープの土台づくりを行った。
10月 1日	木こり講座で伐採したスギ・ヒノキの片付け、板取作業及び昆虫や植物の観察を行った。
11月12日	伐採した竹を活用した竹炭づくり及び火おこしを実践した。また、ターザンロープの土台と支柱、ブランコづくりを行った。
12月 3日	前回に引き続き、ターザンロープの設置作業を行った。また、クヌギの植樹と昆虫の観察を行った。
平成30年 3月 4日	伐採したヒノキの玉切り作業と竹林の整備を行った。

(ウ) 木こり講座

開催日	内 容
平成29年 5月27日	オオムラサキの森において、新規の参加者を対象にチェーンソーの基本的な取扱いとメンテナンスについて講習を行った。また、伐倒の仕方を学び、伐倒を実践した。
6月10日	エノキなどの広葉樹を植栽する場所を作るため、スギ・ヒノキの伐採を行った。伐採した材を活用して、板引きやチェアづくりを行った。
7月 2日	スギ・ヒノキの伐採を行い、伐採した材を活用して子どもの森広場でシーソーづくりを行った。
8月 5日	スギ・ヒノキの伐採及びシーソーづくりを行った。
9月 9日	スギ・ヒノキの伐採と雑草除去を行った。
11月11日	前回まではオオムラサキの森での活動であったが、今回から若宮地区でコナラの伐採とコナラ伐採跡地の藪刈等の作業を行った。伐採したコナラはそのまま葉干しをした。
11月25日	コナラの伐採作業を行った。伐採したコナラはそのまま葉干しをした。
12月16日	コナラの伐採作業及び、前回葉干しをしたコナラをシイタケのホダ木として切り出した。
平成30年 1月10日	初心者を対象にチェーンソーの基本的な取扱いとメンテナンスについて講習を行った。また、伐倒の仕方を学び、伐倒を実践した。
1月17日	伐木等業務の安全衛生講習会を受講した。(1人)
1月20日	コナラ伐採作業と葉干しをしたコナラをシイタケのホダ木として切り出した。また、コナラ伐採跡地の藪刈り等の作業を行った。
2月 6日	伐木等業務の安全衛生講習会を受講した。(1人)
2月17日	オオムラサキの森において、藪刈りとスギ・ヒノキの伐採作業を行った。
2月25日	1月20日と同様に、コナラ伐採跡地の藪刈等の作業を行った。また、葉干しをしたコナラをシイタケのホダ木として切り出した。

(エ) 親子で体験「シイタケのホダ木づくりと駒打ち体験」

開催日	内 容
平成30年 2月18日	「菅生若宮子ども体験の森」において、木こり講座のメンバーが伐採したコナラを使い、シイタケのホダ木づくりを親子で体験した。普段、何気なく食べているシイタケがどのように作られているのか実感できるイベントとなった。

(オ) 親子で体験「マウンテンバイク体験教室」

地域の方々との親睦を図るとともに里山におけるマウンテンバイク利用の理解を深めていただくために、「西多摩マウンテンバイク友の会」の協力により、菅生町内会を始め地域の親子を対象にマウンテンバイク体験教室を開催した。

開催日	内 容
平成29年11月19日	基本的な乗り方等の説明を受けた後、低学年と高学年の2チームに分かれてマウンテンバイクの基本操作やスラローム走行、段差の乗り越え方等を講習した後、マウンテンバイクコースでの走行を行った。

7 ホテルの里づくり

(1) ホテルの里づくり推進事業

ホテルが生息している地域の町内会・自治会が中心に行っている河川の清掃などの保全活動やホテルの鑑賞会などの取組を支援した。



町内会・自治会名	団体名	金額(円)
深沢自治会	深沢ほたるの会	54,000
雨間町内会	南郷用水ホタルの会	54,000
落合自治会	落合自治会ほたるの会	54,000
下引田町内会	一の谷地区ほたるの会	54,000
	合計	216,000

(2) ホタル保全活動事業

圏央道のトンネル上部に設置された菅生公園内の管理及び水路の美化等によるホタルの保全活動を「菅生ホタルの里づくりの会」に業務委託した。

ア 委託事業者 菅生ホタルの里づくりの会

イ 履行期間 平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

ウ 委託料 60,000円

8 森っこサンちゃん

市のイメージキャラクターである「森っこサンちゃん」は、市が発行する各種刊行物や各種イベント等において里山環境の保全や観光のPR活動などに広く活用されている。そのデザインについては、事業者が各種商品に活用できるように、『「森っこサンちゃん」の使用に関する要領』を定めており、各種商品等に活用されている。また、「森っこサンちゃん」着ぐるみ使用基準を定めており、市のイベント等で活用している。



平成28年7月25日には、PR活動を更に推進するため、キャラクター活動に関心のある市職員がボランティアで組織する「森っこサンちゃんサポーターズクラブ」を設置し、「森っこサンちゃん」の幅広い活用の検討や着ぐるみ対応の支援などを行っている。

(1) 各種商品(平成30年3月31日現在)

	商品名	取扱店舗等
食品	缶ドロップ、クッキー、塩セット、チョコクランチ、プリントマシュマロ、ポテあられ	新四季創造(株)
	サブレ	レ・ポルト・ドウ・フィナンシェ
	焼菓子(どら焼き、まんじゅう)	恵比寿屋、(有)菊屋、(有)中島屋
	ロールケーキ	(株)不二家(あきる野とうきゅう店)
その他	キューピー、クリップ、ぬいぐるみ、ボールペン、ミニタオルセット、ミニメモ帳	新四季創造(株)
	シール	(株)クレインエイト
	ストラップ	新四季創造(株)、東京都森林組合
	スマホ立て	東京都森林組合
	Tシャツ	シンコースポーツ(株)、(株)久松機工
	ビーズストラップ	里村 恵
ポロシャツ、防滴ポーチ、メッシュキャップ、Yシャツ	シンコースポーツ(株)	

## (2) 着ぐるみの活用

事 業	回 数					合 計
	平成 29年度	平成 28年度	平成 27年度	平成 26年度	平成 25年度	
市が主催又は共催する事業	15	15	21	25	16	92
小学校、中学校が実施する事業	2	0	0	1	1	4
幼稚園、保育園が実施する事業	4	2	3	5	0	14
観光推進関連事業	8	7	12	11	7	45
商工推進関連事業	1	1	1	0	0	3
その他の事業	6	6	12	4	2	30
合 計	36	31	49	46	26	188

1 環境確保条例に関する委任事務

環境確保条例（都民の健康と安全を確保する環境に関する条例）の一部事務が都から委任されているため、同条例に基づく工場の認可、指定作業場の届出及び地下水揚水施設の揚水量報告に係る指導等を行った。

(1) 工場設置及び変更認可件数の推移

種類	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
設置認可	2	3	0	2	1
変更認可	2	5	0	7	4

(2) 指定作業場設置及び変更届出件数の推移

種類	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
設置届	6	2	3	2	3
変更届	1	1	0	2	0

(3) 地下水揚水量報告書提出件数

工場	6	指定作業場	5	その他	8	合計	19
----	---	-------	---	-----	---	----	----

2 騒音規制法及び振動規制法に基づく届出

騒音規制法及び振動規制法により、特定施設の届出に係る指導等を行った。

(1) 騒音規制法に基づく特定工場数と特定施設数 (単位：箇所)

種別	秋川地区	五日市地区	合計
特定工場	65	53	118
特定施設	323	182	505

(2) 振動規制法に基づく特定工場数と特定施設数 (単位：箇所)

種別	秋川地区	五日市地区	合計
特定工場	60	27	87
特定施設	232	151	383

(3) 騒音規制法に基づく特定建設作業の届出数 13件

(4) 振動規制法に基づく特定建設作業の届出数 12件

3 公害に関する苦情

(1) 苦情受付現象別件数

現象	平成27年度	平成28年度	平成29年度
悪臭	6	7	10
汚水	1	1	3
騒音	21	18	15
ばい煙	0	1	0
粉じん	3	3	3
焼却行為	45	45	41
その他	95	100	106
合計	171	175	178

(2) 発生源別・用途地域別苦情受付件数

用途地域 公害種目	受 付										
	低層住宅	中高層住宅	住宅地域	近隣商業	商業	準工業	工業	工業専用	無指定	計	
発生源別	工場	1	0	0	0	0	1	0	0	1	3
	指定作業場	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	建設作業	2	0	0	0	0	0	0	0	2	4
	一般	77	12	5	4	0	2	0	0	70	170
	合計	81	12	5	4	0	3	0	0	73	178

## (3) 空き地の管理の適正化に関する条例に基づく事務

苦情受付件数	勧告件数	指導件数	草刈機貸出し件数
43	0	40	47

## 4 環境調査

## (1) 秋川・平井川河川水質調査&lt;年間4回(※1)実施の平均値&gt;

項目・単位		PH 水素イオン濃度	BOD 生物化学的酸素要求量	SS 浮遊物質	DO 溶存酸素量	大腸菌群数
地点・年度		—	mg/l	mg/l	mg/l	MPN/100ml
西青木平橋 (秋川)	28年度	7.5	<0.5	<1.0	10.3	793
	29年度	7.7	<0.5	<1.0	10.7	805
落合橋 (秋川)	28年度	7.7	<0.5	<1.0	10.5	-
	29年度	7.6	<0.5	<1.0	10.5	-
沢戸橋 (秋川)	28年度	7.8	<0.5	<1.0	10.4	-
	29年度	7.8	<0.5	<1.0	10.6	-
秋川橋 (秋川)	28年度	8.0	<0.5	<1.0	10.5	1,173
	29年度	8.0	0.6	<1.0	10.5	1,175
天王沢 (秋川合流点)	28年度	7.5	0.5	<1.0	10.1	-
	29年度	7.5	<0.5	<1.0	10.8	-
三内川 (秋川合流点)	28年度	7.8	<0.5	<1.0	9.8	-
	29年度	8.0	<0.5	<1.0	10.2	-
清水荘前 (秋川)	28年度	8.1	<0.5	<1.0	11.0	-
	29年度	8.1	<0.5	<1.0	10.7	-
引田堰 (秋川)	28年度	8.0	<0.5	<1.0	9.8	1,450
	29年度	8.0	<0.5	<1.0	9.8	1,750
秋留橋 (秋川)	28年度	7.9	<0.5	<1.0	11.0	-
	29年度	7.6	<0.5	<1.0	10.5	-
東秋川橋 (秋川)	28年度	7.9	<0.5	<1.0	10.7	2,500
	29年度	7.9	0.6	1.0	11.0	3,175
舞知川 (秋川合流点)	28年度	7.8	<0.5	1.3	10.0	-
	29年度	7.9	0.7	1.0	10.5	-
高橋上流 (養沢川)	28年度	7.6	0.6	<1.0	9.8	330
	29年度	7.6	<0.5	<1.0	10.3	220
五日市解体下 (養沢川)	28年度	7.5	0.6	<1.0	9.8	410
	29年度	7.5	<0.5	<1.0	10.2	410
小宮ふるさと 自然体験学校 前(養沢川)	28年度	7.5	<0.5	<1.0	10.4	-
	29年度	7.5	0.6	6.0	11.0	-
観音橋 (平井川)	28年度	7.9	0.5	<1.0	11.6	3,025
	29年度	8.1	0.7	<1.0	11.3	2,625
小宮久保橋 (平井川)	28年度	7.7	0.6	1.3	11.0	-
	29年度	8.1	0.6	1.0	10.8	-
新開橋 (平井川)	28年度	7.5	0.6	<1.0	10.4	-
	29年度	7.8	0.6	<1.0	10.3	-
多西橋 (平井川)	28年度	7.9	<0.5	<1.0	10.9	3,300
	29年度	7.9	0.6	<1.0	10.7	2,475
鯉川橋 (鯉川)	28年度	7.5	0.5	<1.0	9.8	-
	29年度	7.6	0.6	<1.0	10.0	-
氷沢川ヒル橋 (氷沢川)	28年度	7.5	1.0	1.0	10.2	-
	29年度	7.7	1.7	1.0	10.1	-
参考値(※2)		6.5~8.5	1mg/l以下	25mg/l以下	7.5mg/l以上	50MPN/100ml以下

※1 採水日：平成29年5月12日、8月7日、11月9日、平成30年2月15日

※2 参考値は、河川AA類型(秋川・平井川)の環境基準値である。

※3 BOD、大腸菌群数以外の項目は環境基準を満たしていた。なお、大腸菌群数には土壌や植物由来のものが含まれており、経年変化で見ると急激な数値の上昇は見られないが、今後も経過観察していく。

## (2) 清流保全条例施行に伴う湧水及び合流点の水質分析調査 (採取日 平成30年2月22・23日)

項目・単位 調査場所	PH	BOD	全窒素	アンモニア性窒素	大腸菌群数
	水素イオン濃度	生物化学的酸素要求量			
	-	mg/l	mg/l	mg/l	MPN/100ml
山田八幡神社裏	6.9	0.5	4.77	0.04	33
真城寺	6.8	<0.5	5.56	0.02	70
白滝神社	6.9	<0.5	6.01	0.02	79
牛沼287	6.8	<0.5	4.46	0.01	110
雨間698	6.7	<0.5	3.43	0.05	140
秋川グリーンスポーツ公園前	6.7	<0.5	4.12	0.02	49
小川820	6.6	0.5	7.05	0.02	110
平沢617	6.7	<0.5	6.01	0.02	170
広済寺付近	-	-	-	-	-
二宮お滝	6.4	<0.5	6.72	0.03	79
二宮神社お池	6.5	<0.5	6.48	0.03	110
八雲神社	6.3	<0.5	7.28	0.03	110
草花公園	6.4	<0.5	4.79	0.01	110
草花1127	6.2	<0.5	3.88	0.02	49
草花小学校西	7.0	0.6	2.85	0.02	170
菅生夫婦橋下	7.0	0.5	5.17	0.01	33
折立坂	7.2	0.5	3.06	0.02	70
南秋留小横	-	-	-	-	-
ミュキ組宿舎(西)	7.0	0.6	3.65	0.02	33
舞知川	7.1	1.3	1.43	0.05	70
広済寺下	7.3	0.6	5.82	0.01	79
玉見ヶ崎公園隣	7.1	0.6	6.15	0.01	70
養沢川	7.8	0.5	0.92	0.02	33
盆堀川	7.7	0.5	0.86	0.01	79
入野沢	7.7	<0.5	1.91	0.02	110
北裏水路	7.4	0.7	1.96	0.02	70
樽沢	7.7	0.7	3.92	0.02	79
宮の入沢	7.6	<0.5	1.76	0.02	110
横沢	7.4	<0.5	1.84	0.02	110
引谷川	7.7	<0.5	1.66	0.03	49
溝ッ堀	7.4	0.8	3.49	0.05	170
北川原	7.3	1.0	2.94	0.04	140
ふれあい橋	7.3	1.1	2.88	0.03	110
鯉川合流	7.4	0.6	4.25	0.04	220
氷沢川	7.3	<0.5	2.75	0.02	140
新開橋下	7.3	3.7	4.55	0.04	240
参考値(※1)	6.5~8.5	1mg/l以下	基準なし	0.1mg/l以下	50MPN/100ml以下

※1 湧水の環境基準がないため、河川AA類型(秋川・平井川)の環境基準値を参考値として記載する。

※2 広済寺付近、南秋留小横では、湧水が確認できなかったため、調査を行っていない。

(3) 地下水汚染調査 (採取日 平成29年4月11日)

調査項目	調査地点	草花1	草花2	野 辺	雨 間	湊 上	伊 奈	留 原	環境基準 (水道水の水質基準)
		2672番地	1837番地	408番地	652番地	312番地	1133番地	83番地	
トリクロロエチレン	平成28年度	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/l以下
	平成29年度	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
テトラクロロエチレン	平成28年度	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/l以下
	平成29年度	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
1,1,1-トリクロロエタン	平成28年度	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	1mg/l以下
	平成29年度	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	

※ 全ての地点、全ての項目について環境基準を満たしていた。

(4) その他の水質関係調査

ア 工場等排水調査	年1回	6事業場
イ ゴルフ場水質調査	年1回	2か所
ウ 秋川・平井川大腸菌調査 (ふん便性)	年1回	11か所
エ 多摩川及び関連河川水質合同調査	年2回	2か所
オ 秋川・平井川水生生物調査	年2回	6か所

(5) 一般大気環境調査 (ばいじん)

(単位mg/m<sup>3</sup>)

調査地点	平成27年度	平成28年度	平成29年度
屋 城 小 学 校	0.0442	0.0239	0.0229
農 業 会 館	0.0381	0.0406	0.0251
一 の 谷 児 童 館	0.0231	0.0379	0.0182
いきいきセンター	0.0246	0.0323	0.0218
阿伎留医療センター	0.0252	0.0270	0.0321
秋川給食センター	0.0310	0.0300	0.0168
旧秋川衛生組合	0.0397	0.0378	-
野 辺 地 内	0.0263	0.0435	0.0223
草 花 地 内	0.0362	0.0535	0.0239
あきる野市役所	0.0346	0.0271	0.0214
五日市センター	0.0204	0.0162	0.0157
留原自治会館	0.0130	0.0185	0.0082
五日市出張所	0.0200	0.0228	0.0119
横 沢 ク ラ ブ	0.0113	0.0182	0.0125
フ ァ イ ン プ ラ ザ	0.0234	0.0271	0.0177
環 境 基 準	1時間値の1日平均値が0.10以下かつ1時間値が0.20以下であること		

※1 測定日：平成30年1月25日～26日 (24時間)

※2 平成29年度の旧秋川衛生組合については、改修工事のため、測定していない。

※3 全ての地点で環境基準を満たしていた。

(6) 市内主要地点での二酸化窒素調査（簡易調査法（フィルターバッジ法）による。）（単位：ppm）

地 点 名	5 月	9 月	1 1 月	2 月	平均値
野辺交差点	0.017	0.017	0.024	0.021	0.020
小川交差点	0.020	0.019	0.021	0.022	0.021
二宮本宿交差点	0.018	0.021	0.022	0.022	0.021
氷沢橋交差点	0.016	0.017	0.019	0.020	0.018
菅生交差点	0.019	0.019	0.023	0.023	0.021
上菅生バス停	0.010	0.009	0.013	0.009	0.010
瀬戸岡交差点	0.020	0.017	0.022	0.024	0.021
秋川交差点	0.015	0.018	0.022	0.020	0.019
秋川駅西踏切	0.026	0.018	0.028	0.021	0.023
油平交差点	0.018	0.017	0.022	0.024	0.020
秋留橋	0.020	0.020	0.020	0.019	0.020
湖上交差点	0.011	0.018	0.019	0.018	0.017
山田交差点	0.010	0.015	0.014	0.013	0.013
留原交差点	0.006	0.009	0.010	0.010	0.009
小中野交差点	0.010	0.010	0.009	0.008	0.009
十里木交差点	0.006	0.008	0.010	0.006	0.008
青木平橋入口	0.006	0.009	0.008	0.007	0.008
小宮ふるさと自然体験学校入口	0.003	0.005	0.005	0.004	0.004
五日市出張所	0.005	0.006	0.009	0.006	0.007
東町交差点	0.010	0.012	0.013	0.010	0.011
武蔵五日市駅前	0.012	0.011	0.014	0.013	0.013
小机バス停	0.014	0.016	0.015	0.013	0.015
季節の平均濃度	0.013	0.014	0.016	0.015	0.015
環 境 基 準	1時間値の1日平均値が0.04～0.06までのゾーン内又はそれ以下				

※ 全ての調査日、全ての地点で環境基準を満たしていた。

(7) 大気中ダイオキシン類調査（単位：pg-TEQ/m<sup>3</sup>）

あきる野市役所	五日市出張所	環境基準
0.0093	0.0094	0.60以下

※1 測定日：平成29年8月17日～8月24日（168時間）

※2 全ての地点で環境基準を満たしていた。

(8) その他の調査

ア 工場等臭気調査	年1回	2工場
イ 道路沿道環境調査	年1回	4地点（交通量、騒音調査）
ウ 採石場周辺環境調査	年4回	粉じん・重金属、二酸化窒素、交通量等の調査
エ 事業所関連環境調査	対象事業所2社（水質関係）	

(9) 多摩西部における光化学スモッグの状況

ア 月 別 ( ) 内は都内全域の件数 (単位：件)

種 別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	合計
学 校 情 報	0 (0)	0 (2)	1 (3)	2 (7)	0 (3)	0 (1)	0 (1)	3 (17)
注 意 報	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (4)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (6)
警 報	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

イ 経年変化

年度	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
注意報発令回数	9	3	9	8	5	4	0	1

5 空間放射線測定

定点測定 6か所 4回測定実施（原則として3か月に1回）

6 生活排水対策事業

(1) 合併処理浄化槽設置事業補助金

人 槽	設置基数	補助単価 (円)	補助金額 (円)
5人	3	444,000	1,332,000
6～7人	2	486,000	972,000
8～10人	2	576,000	1,152,000
11～20人	0	1,092,000	0
合計	7		3,456,000

(2) 既存単独浄化槽撤去補助金

区分	撤去基数	補助単価 (円)	補助金額 (円)
既存単独浄化槽撤去補助	0	0	0

7 環境啓発事業

廃食油からの石鹼づくり事業 年間8回実施



生活環境課 清掃・リサイクル係

1 ごみ処理事業

(1) ごみ収集実績

行政区域 内人口	収集 人口	分別区分	収集量及び 持込み量(t)		収集日1日当 り収集量(t)	1人1日 排出量(g)	収集 日数
81,133	81,133	可燃ごみ	収集	17,629	171.155	595.3	103
			持込み	163			
		不燃ごみ	収集	349	14.542	11.8	24
			持込み	3			
		資源	収集	4,041	84.188	136.5	48
		うちペットボトル	収集	158	6.583	5.3	(24)
		うち白色トレイ	収集	2	0.083	0.1	(24)
		うち小型電子機器	収集	29	1.208	1.0	(24)
		有害ごみ	収集	33	1.375	1.1	(24)
		粗大ごみ	収集	449	4.880	15.2	(92)
持込み	357			12.1			
		総 量	23,024	131.566	777.5	175	

※1 行政区域内人口及び収集人口は、平成29年10月1日現在である。

※2 ( )内の日数は、他の収集日と重なるため、収集日の合計には含めない。

(2) 犬猫死体処理

(単位：頭)

区 分	犬	猫	その他	合 計
有 料	12	27	7	46
無 料	0	225	374	599
合 計	12	252	381	645

※ 飼主のいる場合は、有料(1頭につき2,200円)、飼主不明の場合は無料

(3) ごみ収集業者及び収集区域

業 者	区 域
島田産業(有)	雨間・野辺・小川・二宮・平沢・牛沼・秋留等
浦野産業(株)	草花・瀬戸岡・引田・淵上・秋川等
(株)鈴木商店	雨間・切欠・菅生・牛沼・大規模事業所
松村ダスト(有)	山田・伊奈・五日市・小中野・戸倉・乙津等

(4) 粗大ごみ収集件数

業 者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
島田産業(有)	428	377	423	386	343	441	372
浦野産業(株)	423	552	530	453	528	432	486
松村ダスト(有)	182	263	245	247	285	255	247
合 計	1,033	1,192	1,198	1,086	1,156	1,128	1,105
業 者	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
島田産業(有)	367	554	274	244	370	4,579	
浦野産業(株)	557	592	284	271	424	5,532	
松村ダスト(有)	252	188	150	131	239	2,684	
合 計	1,176	1,334	708	646	1,033	12,795	

## (5) 生ごみ堆肥化処理機器購入費補助事業実績

器 種		基 数	補 助 金 額 (円)
生ごみ堆肥化容器(コンポスト容器)		15	30,400
内 訳	地 上 据 置 き 型	15	30,400
	土 壌 埋 設 型	0	0

## (6) EM菌生ごみ処理容器貸与事業実績

ア 平成29年度貸与数 74世帯 148個

イ 通算貸与数 2,651世帯 5,202個

## (7) 資源集団回収奨励金交付事業実績

回 収 量 (kg)					
紙 類	鉄 類	アルミ類・銅等の金属	ビン類	ビンケース	合計
1,957,180	24,227	32,999	30,579	596	2,045,581
登録団体数	実施回数		売上額(円)	奨励金(円)	
114	866		3,075,346	24,605,543	

(奨励金：紙類等取引料5,871,540円含む。)

## (8) 減免用ごみ袋交付事業実績

該 当 項 目	A	B	C	D	E	H	I	J	合 計
減免世帯数	468	578	115	7	1,212	72	15	7	2,474

A 生活保護受給世帯

B 児童扶養手当受給世帯

C 特別児童扶養手当受給世帯

D 国民年金の遺族基礎年金受給世帯

E 65歳以上のみの世帯で、前年度の住民税が非課税の世帯

H 身体障害者福祉法により1級又は2級の身体障害者手帳の交付を受けている方が属する世帯で前年度の住民税が非課税の世帯

I 東京都愛の手帳交付要綱により、1度又は2度の愛の手帳の交付を受けている方が属する世帯で前年度の住民税が非課税の世帯

J 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律により1級の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方が属する世帯で前年度の住民税が非課税の世帯

## (9) ボランティア袋配布事業実績(1組10枚)

番号	配布場所		可燃 (大)	可燃 (小)	不燃 (大)	不燃 (小)	合 計
1	生活環境課	配布組数	1,068	115	50	40	1,273
2	宿直室	配布組数	0	0	0	0	0
3	市民課窓口	配布組数	18	5	1	1	25
4	あきる野ルピア	配布組数	115	35	5	5	160
5	五日市ファインプラザ	配布組数	80	16	7	2	105
6	五日市出張所	配布組数	67	13	8	1	89
7	中央公民館	配布組数	26	3	0	4	33
8	いきいきセンター	配布組数	3	7	0	0	10
9	増戸会館	配布組数	23	3	12	4	42
10	西秋川衛生組合	配布組数	0	0	0	0	0
合 計		配布組数	1,400	197	83	57	1,737

## (10) 廃棄物減量等推進員(ごみ会議)活動実績

ア 会議11回開催(全体会議6回・編集会議5回)

イ へらすぞう発行1回

ウ 生ごみ減量PR

エ 生ごみ堆肥化講習会4回 43人参加

## 2 し尿処理事業

### (1) し尿処理実績

(人口は平成29年10月1日現在)

行政区域内人口	収集人口	総収集量(kℓ)	1日収集量(kℓ)	1人1日排出量(ℓ)	収集日数
81,133	952	2,271	9.307	6.54	244

### (2) し尿処理業者及び収集区域

業者	サンエー(有)	(有)五日市清掃
区域	秋川地区	五日市地区

## 3 し尿浄化槽清掃費助成事業

### (1) し尿浄化槽汚泥収集実績

(人口は平成29年10月1日現在)

行政区域内人口	収集人口	総収集量(kℓ)	1日収集量(kℓ)	1人1日排出量(ℓ)	収集日数
81,133	5,610	3,309	13.561	1.62	244

### (2) し尿浄化槽清掃費助成実績

予算現額(円)	助成総額(円)	件数
5,339,000	5,338,160	668

## 4 一般廃棄物処理手数料徴収事務

(単位:円)

区分	予算現額	調定額	収入額	不納欠損額	還付未済額	収入未済額
家庭ごみ	160,716,000	164,872,310	164,872,310	0	0	0
事業所ごみ	57,176,000	52,093,000	52,093,000	0	0	0
粗大ごみ	16,320,000	15,482,900	15,482,900	0	0	0
し尿	5,960,000	6,184,200	5,903,100	24,750	0	256,350
動物死体処理	154,000	103,400	103,400	0	0	0
合計	240,326,000	238,735,810	238,454,710	24,750	0	256,350

## 5 一般廃棄物処理施設見学

ごみ処理施設(西秋川衛生組合)

市内の小学校等18団体612人が施設を見学した。

## 6 リサイクル関係事業

### (1) 第44回あきる野市リサイクルフェア実施

ア 開催日 平成29年5月13日 午前10時～午後3時

イ 会場 都立秋留台公園

ウ 入場数 800人(推定)

エ 内容

(ア) フリーマーケット

出店数 44店

(イ) リサイクル品(家具等)再利用コーナー

無料抽選会 出品数33点

(ウ) 修理屋さんコーナー

- a 包丁研ぎ 40件
- b おもちゃ修理 27件

(エ) 資源集団回収団体表彰 (優良3団体)

(オ) ごみ会議コーナー

- a 生ごみ堆肥化講習会 17人参加
- b ごみ減量の啓発

(2) 環境問題啓発絵画 (図画) ・ポスター作品展示

対象者 市内小学校4年生～中学校3年生  
応募数 397点 (小学校110点、中学校287点)  
審査結果 入賞15点 (小学校5点、中学校10点)  
展示期間 平成29年11月11日、11月13日～11月17日  
展示場所 市役所1階コミュニティホール

7 環境衛生事業

(1) 衛生害虫駆除

該当箇所なし

(2) 不法投棄防止パトロール事業

週2回 (年間101日間) 2人1組で市内を巡回し、パトロールと回収作業を行った。

- ア 回収件数 1,075件
- イ 回収量 12.30トン
- ウ リサイクル法等対象投棄件数 44件
- エ リサイクル法等対象投棄の内訳
  - (ア) 家電リサイクル法4品目処理件数 44件
  - (イ) パソコンリサイクル法品目処理件数 0件
  - (ウ) 自動車リサイクル法品目処理件数 0件
  - (エ) 処理不能件数 0件

(3) 河川等清掃及び不法投棄ごみ収集

実施日	作業名	内容
平成29年 5月28日 11月26日	あきる野市 一斉清掃	町内会・自治会、漁協 (五日市地区)、PTA等の協力により、春、秋の2回、市内各地の道路や河川等の清掃を実施した。 町内会・自治会参加人数 1 参加人員 第1回 16,039人 第2回 14,607人 2 ごみ収集量 第1回 26.45t 第2回 24.26t
平成29年 4月1日 ～平成30年 3月31日	河川等ごみ 収集	あきる野市シルバー人材センター等に委託し、河川等の投棄ごみを収集した。 委託延べ人員 632人
平成29年 4月10日 ～平成30年 3月10日	団体による 河川等清掃	市内小中学校PTAにより、河川等の清掃を実施した。 参加延べ人員 3,543人 (うち河川は1,021人)

## 8 斎場事業

### (1) 火葬場使用状況

(単位：回)

市町村名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
あきる野市	76	73	51	51	71	64	52	81	90	71	83	83	846
日の出町	20	23	23	17	23	20	24	21	32	26	26	27	282
檜原村	6	5	4	5	4	4	3	2	6	7	2	8	56
奥多摩町	16	11	18	11	18	14	8	11	14	12	16	11	160
組合外	7	8	8	13	6	12	6	10	9	12	4	8	103
合計	125	120	104	97	122	114	93	125	151	128	131	137	1,447

### (2) 斎場使用状況

(単位：回)

市町村名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
あきる野市	17	18	18	16	20	17	17	19	29	21	33	25	250
日の出町	9	6	10	6	6	9	7	13	16	12	8	15	117
檜原村	5	0	2	3	1	0	1	0	0	1	1	1	15
奥多摩町	6	1	2	4	7	2	1	0	5	1	4	6	39
組合外	2	1	1	2	1	4	2	1	0	3	0	2	19
合計	39	26	33	31	35	32	28	33	50	38	46	49	440

## 9 家庭用小型焼却炉無料回収事業

ダイオキシン等を出さない適正なごみ処理を推進するため、家庭用小型焼却炉の無料回収（4基）を実施した。

農林課 農政係

1 農業総務事業

農業会館の利用実績について

施設区分	利用件数 (延べ利用 団体数)	使用料			
		徴収分		減免分	
		件数	金額(円)	件数	金額(円)
展示室	393	386	293,200	7	26,800
会議室	73	69	54,800	4	19,600
研修室	6	0	0	6	25,600
集会室	172	120	104,600	52	82,500
合計	644	575	452,600	69	154,500

2 農業振興事業

(1) 農業振興資金利子補給事業の利用状況

資金の用途	件数	貸付金 (千円)	利子補給額 (円)	備考
農産物生産施設資金	1	1,170	7,560	パイプハウス、加工所
農機具購入資金	1	1,400	608	トラクター等
市長が認めた災害復興 資金	3	3,970	17,899	雪害による被災パイプ ハウス等
合計	5	6,540	26,067	

(2) 市民農園貸付状況等

ア 貸付状況

農園	区画数	貸付区画数	利用者数
上ノ台農園	64	62	39
上ノ台第2農園	76	74	53
森ノ上農園	86	85	52
合計	226	221	144

イ 利用者負担金 1,528,800円

ウ 技術指導

(ア) 非常勤職員賃金 1,009,800円(管理・指導 年間225日)

(イ) 実地講習会

平成29年9月23日(秋冬野菜の植え付けや管理等:参加者12人)

(ウ) 農作物展示会

平成29年11月11日、12日(産業祭品評会々場)

(3) 第23回あきる野市産業祭

ア 開催日 平成29年11月11日、12日

イ 農産物展示会 出品者65人 出品点数319点

ウ たい肥の無料配布 先着150人

エ 仔牛の写生会 参加者120人

オ のらぼう菜苗の無料配布 各日先着100人

### 3 秋川ファーマーズセンター管理事業

指定管理者による管理

名 称	指定管理者	指 定 期 間	平成29年度 利用 者 数
秋川ファーマーズセンター	秋川農業協同組合	平成26年 4月 1日 ～平成31年 3月31日	303,528

### 4 有害鳥獣捕獲事業

農作物等に対する有害鳥獣等の捕獲の状況

実 施 期 間	獣 種	実 施 区 域	頭羽数
平成29年 4月 1日 ～平成30年 3月31日	イノシシ	市内全域（市街地を除く。）	29頭
平成29年 4月 1日 ～平成30年 3月31日	サル	五日市地区（市街地を除く。） 増戸、五日市、戸倉、小宮地区	6頭
平成29年 4月 1日 ～平成30年 3月31日	ハクビシン タヌキ アライグマ アナグマ	市内全域	188頭
平成29年 4月 1日 ～平成30年 3月31日	キジバト カラス ドバト ムクドリ ヒヨドリ	秋川南岸・五日市地区（市街地を除く。） 雨間、切欠、増戸、五日市、戸倉、 小宮地区	182羽
平成29年 4月 1日 ～平成30年 3月31日	シカ	五日市地区 戸倉、小宮、小中野地区	4頭

### 5 獣害防止対策事業

#### (1) 獣害防止警戒システム整備事業委託

ア 委託先 東京都猟友会五日市地区

イ 委託業務 サルの追い払い

五日市地区（五日市・戸倉・小宮地区）2人 150日間

ウ 委託料 3,844,400円

#### (2) 加害獣侵入防止対策事業

ア 簡易電気柵購入 10セット 398,466円

イ 簡易電気柵貸出件数 45件

ウ 電気柵（落合地区）600m 3,160,750円

エ 電気柵（下養沢地区）430m 1,995,430円

#### (3) 有害獣捕獲事業

ア 東京都猟友会五日市地区 2,850,000円

イ 捕獲鳥獣殺処分委託（ハクビシン等）210,000円

ウ 捕獲鳥獣殺処分委託（カラス等）100,000円

#### (4) あきる野の農と生態系を守り隊事業補助金

ア 保険加入補助 35件 77,400円

イ 技能講習補助 5件 61,500円

ウ 新規銃所持補助 1件 6,800円

エ 診断書料補助 11件 42,510円

オ 狩猟免許取得補助 5件 55,000円

カ 教習射撃 1件 28,700円

(5) 農作物地域強化推進事業

射撃場講習会 170,320円

6 地域農政推進対策事業

(1) 認定農業者等担い手育成総合支援協議会

開催日	内容
平成29年11月27日	役員の互選 平成28年度事業報告について 平成29年度アクションプログラム(案)について 平成29年度事業計画(案)について 農業経営改善計画認定審査(新規認定)について
平成30年2月5日	農業経営改善計画認定審査(更新認定)について 農業経営改善計画認定審査(新規認定)について 青年等就農計画認定審査(新規認定)について 新規就農者提案型農業経営支援事業について

(2) 新規就農者相談センターの設置

新規就農者相談員を1人配置し、新規就農を目指す者に対して支援を行った。

支援対象者 2人

7 畜産振興事業

(1) 家畜環境衛生保全

(2) 家畜公害防止奨励事業

農業振興会畜産部に対し、畜産公害防止のため薬剤購入補助を行った。

交付金額 220,000円

8 自然休養村事業

(1) 戸倉運動場管理及び使用状況

利用件数 [利用日数] (利用団体数)	使用料			
	徴収分		減免分	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
326 [142] (59)	208	150,800	118	91,600

(2) 運動場整備委託

ア 草刈及び植木の剪定(7回/年)

イ シルバー人材センター等 196,075円

9 用排水路整備事業

(1) 用排水路清掃委託

ア 小川久保用排水路 (有) 田嶋土建 164,160円  
 イ 小庄地内用水路 (株) 馬場組 280,800円  
 ウ 下代継用水路入口 (有) 田嶋土建 246,240円  
 エ 東郷前上流用水路 (有) 田嶋土建 75,600円  
 オ 切欠用水路(その1) (有) 村木土建 248,400円



カ	切欠用水路（その２）	（有）村木土建	97,200円
キ	高瀬用水路	（有）村木土建	198,720円

(2) 農地及び農業用施設災害復旧事業

平成26年6月に発生した集中豪雨により、鳥居場会館西崖線が法面崩落し、その土砂及びコンクリート塊が堆積し真下にある東郷前用水の水路が閉塞する被害が発生した。この災害について、水路の復旧と崩落した法面の設計及び工事は平成26年に完了し、平成29年度はその他の上・下流の鳥居場地区農地防災事業実施設計委託の4年計画の初年度として、法面の設計・工事を実施した。

ア	法面改修工事設計委託	東京都土地改良事業団体連合会	972,000円
イ	法面改修工事	（有）田嶋土建	48,476,880円

10 農業振興地域農用地除外事務

(1) 件数 1件（1筆）

(2) 面積 1,071㎡

11 農業振興地域農用地証明書発行件数 8件

12 農業団体育成事業

(1) 農業振興事業業務委託

あきる野市農業振興会 2,000,000円

(2) 主な事業内容

ア 家畜疫病予防事業

法定伝染病予防対策として、次の予防接種を行い、伝染病の発生を未然に防いだ。

(ア) IBR予防接種

4酪農家の乳牛112頭に五種及び六種混合を接種した。

(イ) 鶏のマレック・ニューカッスル病予防接種

2養鶏農家の12,000羽に接種した。

イ 畜産公害対策事業

畜産経営が安心して営めるように、畜産農家（7戸）が希望する畜舎消毒用等の薬剤を一括購入し、ハエや蚊などの発生を軽減させ畜舎の環境衛生に努めた。

ウ 秋川とうもろこし栽培研究事業

品質の良いスイートコーンを消費者に提供するための栽培研究として、市内農家の圃場において試作品種の種を播き、平成29年7月に外観・食味等の比較調査を行った。

エ 農業後継者育成対策事業

将来の農業のあり方・多様化した農業の諸問題について、農業後継者部が中心となって「魅力ある農業」の研究を行った。

(ア) 意見交換会の実施

農業委員及び認定農業者と日野市直売所「みなみの恵み」の視察と意見交換会を実施した。

(イ) 家族交流会の実施

家族間の情報交換をするため、家族交流会を実施し交流を深めた。

オ 農畜産物生産技術育成事業

消費者のニーズに対応する安全・安心な多品目の農畜産物を生産するために技術の向上を目指した。

(ア) 優良牛品種改良研究

泌乳能力の優れている種牛の凍結精液を導入し、品種改良による乳量増大を目指すことで経営の安定を図った。

(イ) 先進地視察研修

部 会 名	内 容
そ菜部	平成29年11月2日に「東京都農業祭」及び東京都葛西市場、平成30年2月15日に「サカタのタネ掛川研究所」を視察した。
果樹植木花部	平成29年10月3日に八王子市で開催された「全国都市緑化はちおうじフェア」、10月12日に幕張メッセでの「第7回農業ワールド」を視察した。 平成30年1月31日に池袋サンシャインシティで開催された「第67回関東東海花の展覧会」に出品した。
後継者部	平成30年1月11日、12日に静岡県駿東郡小山町の「道の駅すばしり」及び静岡県伊豆市の「ベアードブルワリーガーデン修善寺」を視察した。
女性部	平成29年8月24日、10月24日、平成30年2月26日に中央公民館において市内産の野菜を使った料理教室を実施した。
のらぼう部会	平成30年1月26日に埼玉県の「JA埼玉中央比企のらぼう菜部会の圃場」、2月23日に神奈川県「JA全農営農技術センター」等を視察した。

カ 農家の生活改善等啓発事業

農業に従事する女性は、農業の担い手として、また、家庭生活や地域社会への参加など重要な存在となっている。このため、農家女性も農業振興対策や地域が抱える農業の課題解決に向け積極的に取り組めるように視野を広げた。

(ア) 産業祭に参加

平成29年11月11日、12日の産業祭において、おやきを販売することにより、市民との交流を図った。

(イ) フォーラムに参加

平成30年2月8日に開催された男女共同参画フォーラムに参加し、見聞を広めた。

キ 農業振興対策事業

市農業の発展と都市との調和を考え、市民に「あきる野農業」をPRするとともに、農業者自身も幅広い知識を習得した。また、農業者相互の連携を密にすることにより農業振興を図った。

(ア) 産業祭に参加

平成29年11月11日、12日の産業祭において、あきる野市における農業の現状を市民に紹介するため、次のとおり実施した。

a 農産物品評会の開催

農産物の栽培技術及び品質の向上を目的として、市内の農産物（319点）を市民に紹介し、農業振興を図った。

b 仔牛の写生会

市民に畜産業についての理解を深めてもらうため、子どもたちを対象に仔牛の写生会を実施した。

c 農産物の即売

農産物品評会終了後、農産物を即売し、消費者への宣伝普及を行った。

d のらぼう菜の苗配布

両日とも先着100人にのらぼう菜の苗の無料配布を行い、特産品の宣伝及び普及を行った。

e たい肥の配布

たい肥（牛糞）を先着150人に無料配布し、市内で生産しているたい肥の宣伝及び普及を行った。

(イ) 先進地視察研修会の実施

農業振興会では、平成29年8月30日に、埼玉県川口市の「花と緑の振興センター」等を視察した。

(ウ) 農業振興会だよりの発行

地域農業者の情報誌として、また、異種農業者（農業振興会各部）の連携を深めるため、「農業振興会だより」を年3回発行した。

(エ) 農業用資材の調査研究

環境に優しい農業資材の調査研究のため「生分解性マルチフィルム」購入に際して一部助成をし、ゴミの減量に努めた。

13 田園景観保全事業

市内の水田にレンゲソウの種子を配布し、景観整備を行った。

配布地区 小川、横沢（横沢入）、引田、菅生、五日市（小庄水田）、御堂

14 農業経営基盤強化促進法による農地の利用集積事業

利用権の設定

- (1) 件数 8件（14筆）
- (2) 面積 11,481㎡
- (3) 契約期間 3年～5年

15 「革新的技術開発・緊急展開事業」（野生鳥獣対策コンソーシアム）

農林水産省の研究開発支援事業である「革新的技術開発・緊急展開事業」として採択された「ドローンを活用した野生鳥獣の生息状況把握及び農作物被害防止方策等に関する研究」に取り組む「野生鳥獣対策コンソーシアム」（ドローン関連企業、市、（一社）大日本猟友会、研究機関等により構成）に参画し、あきる野市内の西部山間地域の農作物被害を把握するため、農業者等へのアンケート、ドローンによる調査・実証研究を行った。

調査・実証研究	実施日	実施地区
イノシシ生息調査	平成29年8月2日～4日	小和田地区
	平成30年2月7日～9日	横沢地区
サル追い払い	平成29年6月20日	乙津地区
	平成29年6月22日	盆堀地区
	平成29年6月23日	乙津地区
	平成29年8月28日	乙津・養沢地区
	平成29年8月30日	乙津地区

16 新規就農者提案型農業経営支援事業

市内で新たに農業経営を始める農業者に対し、農業経営を行うために必要な施設、機械等の購入に要する経費の一部について補助を行った。

2戸の新規就農者が、新たな担い手候補として営農開始することができ、農業経営者の育成を進めることができた。

- (1) 補助対象者 新規就農者 2戸
- (2) 補助事業の内容 ハウス1棟、トラクター1台、エンジン洗機等
- (3) 補助金額 999,448円

17 青年就農給付金事業

国の新規就農・経営継承総合支援事業実施要綱に基づき、農業従事者の減少及び高齢化に対応するため、経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対して、あきる野市青年就農給付金を支給した。

- (1) 補助対象者 新規就農者 2戸
- (2) 補助金額 3,000,000円

18 南郷用水堰災害復旧事業

台風21号の影響で、平成29年10月21日夜半から22日早朝にかけて降り続いた豪雨により、あきる野市牛沼505番地先の頭首工の洪水吐ゲート（止水鋼及び水密ゴム）が破損し、操作が困難となり、秋川水系の南郷用水路の受益者戸数97戸を擁する用水路を遮断した。

この時期は、幸い水稻の収穫時期の終盤期であったため、大被害は避けられたが、畑作に必要な用水の供給を確保するため、国の被害査定を受けて復旧工事を実施した。

事業量	洪水吐ゲート（止水鋼 L=13.9m・水密ゴム L=14.0m）						
仮設工	築堤土工事	1.0	式	洪水吐ゲート	止水鋼（受板）	13.9	m
	締切り排水工	1.0	式	改修工	止水鋼（押板） ボルト交換		

- (1) 南郷用水堰災害復旧工事
  - ア 請負者 (有) 田嶋土建 3,566,160円
  - イ 工期 平成30年2月22日～3月30日
- (2) 南郷用水堰災害復旧工事設計委託料 (株) エーシーイー 270,000円

19 魚道維持管理事業

魚道の設置目的である「魚が常に溯上、降下できる河川」を実現するためには、魚道が常に機能していることが不可欠である。しかし、魚道は出水による土砂や流木等による閉塞・流況変化等により、常に機能している状態を維持することは難しいことから、市では、魚道の一体的な管理体制の構築を目指して、秋川漁業協同組合と連携し、魚道管理に携わる各機関が現状における管理上の問題点や課題に係る情報を共有しつつ、魚道の維持管理を行った。

- (1) 魚道維持管理委託（その1）引田 (有) 田嶋土建 64,800円
- (2) 魚道維持管理委託（その2）下代継 (有) 田嶋土建 181,440円
- (3) 魚道維持管理委託（その3）引田 (有) 田嶋土建 91,800円
- (4) 魚道維持管理委託（その4）小庄 (株) 馬場組 54,000円
- (5) 魚道維持管理委託（その5）下代継 (有) 田嶋土建 275,400円

(6) 魚道維持管理委託 (その6) 南郷	(有) 田嶋土建	259,200円
(7) 魚道維持管理委託 (その7) 南郷	(有) 田嶋土建	279,720円
(8) 魚道維持管理委託 (その8) 引田	(有) 田嶋土建	289,980円

## 20 都市農業活性化支援事業

意欲のある農業者に対して都市の有利性を活かした農業経営力を強化するため、施設や農機具等の導入を支援し、地域農畜産物の生産性、品質の向上、高付加価値化を実現した。また、市民等に新鮮で安全な農畜産物を1年を通じて供給することで、地産地消型農業を推進した。

- (1) 補助対象者 市内農家7戸
- (2) 補助事業の内容 ハウス10棟、養液栽培システム1式、暖房機2台、挿し木床温水循環システム1式、トラクター4台、アタッチメント3式、灌水ポンプ1式、ネギの皮むき機1台、乗用ローダー1台、農業用運搬機1台、給水管工事2式
- (3) 事業費 45,541,000円

農林課 林務係

1 市有林整備事業

市有林には、市が直接管理している森林と個人に貸し付けている森林があり、保育・管理、境界確認作業等を計画的に実施している。

(1) 市有林境界調査

ア 管理図作成面積 99.58ha  
イ 事業費 1,472,670円

(2) 市直営林の管理育成

ア 面積 8.20ha  
イ 事業費 3,163,060円

施 業 場 所	面積(ha)	内 容
あきる野市戸倉地内	6.20	間伐工、草刈工、除伐工、枝打ち工
あきる野市高尾地内	2.00	大刈工

2 林道事業

林業生産基盤強化のため、林道の開設、改良を進めるとともに、市が管理する全15路線でおおむね1か月に一度は安全点検を行い、必要に応じて路側の草刈りや側溝の清掃等の維持管理を実施している。

工 事 件 名	工 事 内 容	工 事 費 (円)
林道南沢線改良工事	土工1.0式 法面保護工A=2,856.9m <sup>2</sup> 溝渠工1.0式	33,000,000
林道鍾乳洞沢線開設工事	工事施工延長L=75.0m 補強土壁工A=262.5m <sup>2</sup> 法面保護工A=237.3m <sup>2</sup> ガードレール設置工L=60.1m 溝渠工1.0式	23,700,000
林道南沢線災害復旧工事	工事施工延長L=36.2m 補強土壁工A=122.4m <sup>2</sup> 法面保護工A=237.9m <sup>2</sup> ガードレール設置工L=25.5m かご枠工L=69.0m 路面工A=195.4m <sup>2</sup> 溝渠工1.0式	15,000,000
林道維持補修工事 (林道南沢線外3路線)	路肩補修工事等1.0式	4,793,940

3 森林再生事業

木材価格の低迷等によって林業の採算性が低下し、手入れが行われず、荒廃が進んでいるスギ・ヒノキの人工林について、3割間伐を実施した。(現地確認実施)

- (1) 協定書締結件数 20件  
(2) 実施面積 42.82ha  
(3) 事業費 28,604,808円(東京都負担)

#### 4 枝打ち事業

過去に森林再生事業（間伐）を実施した森林について、枝下から一律4.0mの枝打ちを行った。

- (1) 承諾者数 6人
- (2) 実施面積 18.30ha
- (3) 事業費 29,429,090円（東京都負担）

#### 5 森林計画関係

- (1) 森林整備推進協議会開催 1回
- (2) 森林経営計画認定及び変更認定 11件
- (3) 森林経営計画認定同意及び変更認定同意（属人計画） 2件
- (4) 森林経営計画認定区域外伐採届（森林法第10条の8）処理 29件
- (5) 森林経営計画認定区域伐採届（森林法第15条）処理 6件
- (6) 保安林内間伐届（森林法第34条）受理通知処理 8件
- (7) 森林の土地所有者届出書受理及び通知 2件

#### 6 採石事業関係

- (1) 採石生産量報告書受理件数 24件（2社）
- (2) 採石場パトロール 平成29年11月15日実施（2か所）

#### 7 治山事業

- (1) 治山工事協議（現地確認） 21件
- (2) 治山工事に伴う測量設計（東京都施工） 1件
- (3) 治山工事（東京都施工） 7か所（戸倉・養沢・乙津・草花地内）

#### 8 他自治体等との連携事業

- (1) みなと区民の森・みなと森と水ネットワーク会議

- ア みなと区民の森調整連絡会開催 1回
- イ みなと区民の森環境学習（間伐体験・生き物観察）開催 14回
- ウ みなと森と水ネットワーク会議開催 3回
- エ みなとモデル二酸化炭素固定認証制度事業者追加登録件数 1件
- オ みなとモデル二酸化炭素固定認証書発行件数 0件

- (2) 新宿の森 あきる野

「新宿の森 あきる野」自然体験ツアー 平成29年11月18日実施

- (3) サントリー天然水の森奥多摩

- ア 間伐作業 7.80ha
- イ 獣害防護柵設置 88m×1か所
- ウ 歩道改修 880m

商工振興課 商工振興係

1 商工業振興事業

商工会への補助により、市内商工業の改善や発展が図られたとともに、商店街への補助及びイベント開催支援を通じ、市内商工業の振興に資した。

また、市内事業所への融資及び利子補給事業を通じ、市内中小企業の振興及び経営改善に資した。

(1) 商工振興補助事業

ア 商工会補助事業

あきる野商工会 商工会事業補助額 25,650,000円

イ あきる野活力みなぎる交付金

(ア) 住宅改修助成事業 商工会事業補助額 8,000,000円

個人住宅の改修工事等の一部を助成することで、事業者の利用促進とともに、住民サービスの向上や地域資産の充実を図ることで、需要の喚起を促し、景気を刺激し、地域経済の活性化に寄与することを目的として実施した。

- a 申請件数 208件
- b 完了済件数 206件
- c 施工事業所数 48社
- d 総合計請負金額 252,303,905円
- e 助成金額 10,704,000円

(イ) ご当地グルメ情報発信事業 商工会事業補助額 500,000円

ご当地グルメ発掘及び開発に係る情報発信を行い、地域特性を内外に強く知らしめ、地域産業の更なる振興を図った。

- a 平成28年度に実施した地域特産品アイデア募集事業の優秀作品のレシピ化を実施し、市内事業者へ情報提供を行った。アイデア商品の取扱いを希望する事業者へ配布するレシピデータを作成した。
- b 地域ブランド「秋川溪谷物語」商品の追加に伴い従来のパンフレットを修正し、いんどり屋や市内店舗等で配布した。

ウ 創業就労支援補助事業 商工会事業補助額 12,400,000円

あきる野創業・就労・事業承継支援ステーションBi@Sta(ピスタ)を活用し、創業、就労、事業承継に係る相談業務を中心とした支援を実施し、市内商工業者の振興と就労希望者への情報提供を図った。

(ア) 相談実績 474件(うち創業相談144件、就労相談43件、事業承継相談6件)

専門相談員(中小企業診断士)による創業・事業承継相談のほか、ハローワーク青梅の職員による月1回の就労相談会(時間限定で子育てひろば「こころの」で就労ミニ相談会も実施)を実施した。

(イ) 創業実績 10件

(ウ) 創業塾 平成29年9月30日～10月28日(全5回) 参加者12人

(エ) チャレンジショップ利用実績 7件

(オ) スモール・オフィス利用実績 3件

(カ) ミニセミナー 平成29年5月～平成30年3月(全11回) 参加者50人



## (キ) 事業承継アンケート調査

商工会員94件を対象に、中小企業診断士が事業承継に関する聞き取り調査を実施し、現状の分析と取りまとめを行った。

エ プレミアム商品券事業 商工会事業補助額 20,000,000円

名称	秋川溪谷商品券
発行冊数	25,000冊
商品券の詳細	1冊10,000円で販売 500円券が22枚綴りで11,000円分使用可能 A券13枚(取扱店全店で使用可能) B券9枚(大型店で使用不可)
発行総額	275,000,000円
販売期間	平成29年7月18日～平成29年8月2日
高齢者等への 先行販売	平成29年7月1日～平成29年7月7日 (3,000冊販売)
使用期間	平成29年7月18日～平成29年12月31日
取扱店舗数	445店舗(大型店24店、一般店421店)
商品券の 回収率	274,488,000円(99.81%) 大型店103,196,000円、一般店171,292,000円

## オ 商店街振興補助事業

販売促進事業(イベント事業:東京都新・元気を出せ!補助事業併用、市補助含む。)

商店会名	事業名	補助額(円)
あきる野商店会連合会	あきる野商店会連合会お花プレゼントセール	416,000
	あきる野商店会連合会感謝祭	468,000
秋川駅北口会	秋川駅北口会フェスティバル	1,678,000
	あきる野ウィンターフェスティバル2017	558,000
原店商店会	原店ナイトバザール	700,000
	歳末セール	217,000
野辺商興会	ワッシュイワッシュイセール	393,000
五日市商和会	お中元大売出しと五小ソーラン	456,000
	歳末大売出し&イルミネーション	336,000
多西商栄会	感謝セール	120,000
	歳末感謝セール	128,000
増戸商栄会	増戸ますます市	1,088,000
秋川駅南口商店会	さくらまつりセール	525,000
	ウィンターフェスタ	410,000
二宮商栄会	お中元サマープレミアム大セール!!	242,000

## カ 商店街装飾灯補助事業(装飾灯の維持管理経費に対する補助)

商店会名	基数	補助額(円)
原店商店会	LED 33	66,000
東秋留北口商栄会	LED 20	60,766
五日市商和会	LED 80	160,000

## キ 夏まつり補助事業

開催日	平成29年8月5日
場所	JR秋川駅北口大通り周辺
来場者数	約35,000人
補助額	2,593,882円(第15回あきる野夏まつり運営委員会補助)

ク ヨルイチ補助事業

開催日	平成29年8月26日
場所	檜原街道沿いの地域（JR武蔵五日市駅～小中野交差点）
来場者数	約10,000人
補助額	540,000円（第15回ヨルイチ実行委員会補助）

ケ 産業祭補助事業

開催日	平成29年11月11日、12日
場所	都立秋留台公園
来場者数	約47,000人（1日目26,000人、2日目21,000人）
補助額	5,297,011円（第23回あきる野市産業祭運営委員会補助）

(2) 中小企業振興資金融資及び利子補給事業

ア 融資件数 21件

イ 融資額 114,650千円

	利子補給件数	利子補給額（円）
上半期	128	259,947
下半期	100	293,868

ウ 保証料助成額

開業資金 3件 180,565円

(3) 小規模事業者経営改善資金利子補給

	利子補給件数	利子補給額（円）
上半期	212	5,156,255
下半期	207	4,751,132

2 地域産業活性化事業

地域経済力の強化を目指し、商工業、観光等全ての産業の効果的な振興を図るため、市民と協働で活性化事業を実施した。

(1) 秋川駅北口地区産業活性化戦略委員会

ア 会議 7回開催

イ 実施事業

イルミネーション事業

イルミネーションの設置を通じ、秋川駅周辺地区への誘客及び活性化に寄与した。

設置場所・点灯期間 秋川駅北口駅前

平成29年11月24日から平成30年1月15日まで

秋川駅南口駅前・駅前大通り

平成29年10月27日から平成30年1月31日まで

(2) 五日市活性化戦略委員会

ア 会議 10回開催

イ 実施事業

(ア) 第2回秋川溪谷雑めぐり事業

2月10日から3月11日まで、JR武蔵五日市駅から小中野付近までの檜原街道沿いの商店等にお雑様等を展示し、五日市地区の魅力発信及び来訪者の増加による地域活性化を図った。

(イ) 歴史・文化のつなぎびと事業

毎月5日に五日市ひろばで開催されている「ふるもの市」において、10月から、忍者、木工、紙漉き、着物の着付け等をPRするブースを設け、五日市の歴史や文化等の魅力発信を図った。

(ウ) 空き店舗活用ビジョン策定事業

五日市地区に増加した空き店舗について対策を講じるため、空き店舗活用ビジョン策定部会において、五日市の将来像について議論・研究を重ね、活用ビジョンを策定した。また、公開制のマチづくり勉強会を実施し、店主や地域住民にも情報の共有を図った。

(エ) 視察研修事業

1月19日に青梅市の株式会社まちづくり青梅を視察(参加者12人)し、空き店舗を活用した地域活性化の先進事例を学んだ。

(3) 養沢活性化委員会

ア 会議 10回開催

イ 実施事業

(ア) ライトアップ事業(地域内の桜、もみじをライトアップ)

(イ) 景観整備事業(植樹、伐採)

(ウ) 果樹園整備事業(ブルーベリー畑の草刈、商品化の研究、ブルーベリーの販売)

(エ) ホタル育成事業(カワニナを増やす活動、7月9日にホタルの夕べ開催)

(オ) 空き家対策事業(今後の空き家活用を検討し、空き家の調査やパンフレットを作成した。)

3 中小企業信用保険法の規定に基づく認定事業

特定の要件により経営の安定に支障を生じている中小企業者について、信用保証協会による補償限度額の別枠化等を行うことにより、市内企業の経営の安定化を図るものであるが、平成29年度は市内企業からの申請は無かった。

(1) 業種関係認定(法第2条第5項第5号) 0件

(2) 東日本大震災関係認定(法第128条第1項第1号、第2号) 0件

4 大規模小売店舗立地法に基づく届出

平成29年度は大規模小売店舗立地法に基づく届出はなく、市内における大規模小売店舗の出店や変更等の動きは見られなかった。

5 砂利採取法に関する意見調整

秋川の河川保全区域を含む土地における砂利採取計画については、砂利採取法の規定に基づき、都から砂利採取事業者が平成29年4月1日から平成31年3月31日まで認可(更新)を受けており、当該事業者が砂利採取を継続しているため、今年度は意見調整を行わなかった。

(1) 新規砂利採取申請件数 0件

(2) 継続砂利採取申請件数 0件

## 6 市民ローン貸付けに伴う保証機関保証料補助

市民が生活の安定を図るために、臨時的に支出する資金について融資をあっせんする体制を整えている。平成29年度は貸付利率を下げたところ、相談及び申請件数が1件あったものの、融資実行はなかった。このため、市民が本制度を利用しやすい仕組みづくりについて改めて検討する。

相談件数	申請件数	融資実行件数
1件	1件	0件

## 7 消費者行政関係

消費者相談の実施を通じて消費者トラブルや被害の解決を図った。また、講座や啓発事業の実施により、市民の消費者被害防止や消費生活の向上に寄与した。

### (1) 消費者相談

ア 開催日数 96日

イ 相談件数 130件

### (2) 消費生活講座

開催日	講座名	受講者数
平成29年 8月22日	夏休み子ども消費生活講座 「知ろう地域の名産品！～『あきる野の匠』が教える！しょうゆづくりとMYしょうゆづくり体験～」	34
11月28日	消費生活講座 「終活ってなんだろう？～自分らしく生きるための知恵～」	26
12月18日	消費生活講座 「食品ロスをなくそう！～あきる野市の食材を使った地産地消・使い切りレシピ～」	17

### (3) 消費者啓発

ア 産業祭会場での消費者トラブル・被害防止啓発展示

(ア) 実施日 平成29年11月11日、12日

(イ) 場 所 産業祭会場内公共コーナー

(ウ) 内 容

消費生活相談員による消費生活相談窓口のPR及び消費者被害防止啓発を目的にブースを設置し、11日はパネル展示のみ行い、12日は新しい洗濯表示に関するクイズ・カルタを実施した。

イ 成人式出席者への消費者被害防止啓発リーフレット（若者用）配布

ウ 広報「あきる野」への消費生活情報掲載

「くらしの知恵袋～消費生活相談情報～」と題し、月1回程度、消費者被害防止や消費生活に資する情報を掲載した。

### (4) 西多摩地域消費者行政事務連絡会・西多摩地域広域行政圏消費生活相談広域連携連絡会議

西多摩地域8市町村（青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、奥多摩町、檜原村）における消費者行政の円滑な推進及び相談広域連携の円滑な運営を図ることを目的とし、消費生活講座の共同開催や消費生活相談の相互受付を実施した。

平成29年度は、連絡会4回、講座1回（テーマ：「インスタ映えするサンドウィッチを作ろう！」【参加者数25人】）を福生市にて開催し、バスツアー1回（内容：「東洋羽毛相模原工場見学ツアー」【参加者数69人】）を実施した。

(5) 東京都高齢消費者見守り推進モデル事業

消費生活相談窓口、商工振興課、地域包括支援センター、高齢者支援課の4者で見守りネットワークを構築し、高齢者の消費者被害防止のため、円滑な連携を図れるようネットワークの整備を行うことで、高齢者の消費者被害防止を図った。

ア 見守り関係者と消費生活センターとの連絡手段等の明確化・共有化

相談連絡票（連絡・通報シート）を作成し、4者の連絡手段を整備した。

イ 地域包括支援センター等と計画的に連携して実施する出前講座及び出前寄席

ケアマネージャー及び高齢者やその家族を対象とした出前講座を実施した。

開催日	内容
平成29年8月14日	ケアマネージャーを対象とした見守り人材向け出前講座
平成30年2月21日	小宮地区内高齢者を対象とした出前寄席講座
3月29日	三内地区内高齢者を対象とした出前寄席講座

ウ 区市町村等において推進する取組

消費生活リーフレット個別配布事業

配布日 平成29年12月20日～26日

リーフレット作製委託料 323,946円

リーフレット配布委託料 958,363円

8 第23回あきる野市民まつり実行委員会

あきる野市民まつり実行委員会を設置し、市民まつりの計画と実施の運営を円滑に行った。

事務担当者会議 平成29年7月7日

9 労働行政関係

ハローワーク、東京しごとセンター多摩と共催でセミナーを実施し、市民の就職活動を支援した。

また、就労支援に係る情報を広報やホームページに掲載し、市民へ就職に資する情報を伝えた。

(1) あきる野ハローワーク求人情報コーナー

ア 来所者 12,973人（求職者 12,913人、求人者 60人）

イ 就職者 842人

(2) 労働セミナー及び面接会

ア 中高年齢者就職支援セミナー（ハローワーク青梅との共催事業）

開催日	テーマ	受講者数
平成29年7月7日	効果的な再就職活動をするために	44
平成30年1月31日		28

イ 面接会（ハローワーク青梅との共催事業）

開催日	参加企業数（社）	当日面接人数	採用人数
平成29年7月7日	3	6	3
平成30年1月31日	3	16	6

ウ 就職支援セミナー（ハローワーク青梅との共催事業）

開催日	コース	参加者数
平成29年4月24日	自己理解・職業理解（座学）	14
5月29日	応募書類の書き方（座学）	18
6月26日	面接対策（座学）	16
7月24日	自己理解・職業理解（座学）	17
8月28日	応募書類の書き方（座学）	14
9月25日	面接対策（座学）	10

開催日	コース	参加者数
10月23日	自己理解・職業理解（座学）	10
11月27日	応募書類の書き方（座学）	10
12月25日	面接対策（座学）	9
平成30年 1月29日	自己理解・職業理解（座学）	7
2月26日	応募書類の書き方（座学）	5
3月26日	面接対策（座学）	5
合計		135

エ 就職面接会（東京しごとセンター多摩との共催事業）

開催日	参加企業数	当日面接人数	採用人数	開催場所
平成29年10月13日	20	137	5	職業能力開発センター
平成29年10月20日	10	45	4	福生市
平成29年11月21日	10	60	7	八王子市

10 五日市ひろば利用状況

五日市ひろばを市民の交流の場として開放することで、商店街の振興と地域産業の総合的な発展を図った。

利用状況

利用件数	使用料				使用日数	利用人数
	件数	徴収分（円）	件数	減免分（円）		
35	18	35,200	17	111,200	118	13,073

11 青梅線沿線地域産業クラスター協議会

JR青梅線、五日市線及び八高線沿線地域の企業を有機的なネットワークで結び付け、取引、連携、協働、協業及び健全な競争を促進することにより、地域産業の振興に寄与した。

(1) 会議 運営協議会 1回 事務局会議 4回 ワーキンググループ 4回

(2) 事業

ア 研修事業

新入社員研修（全3回、延べ97人）

中堅社員研修（全3回、延べ48人）

幹部社員研修（全3回、延べ43人）

イ 人材確保支援事業

(ア) 杏林大学学内合同企業説明会

開催日 11月6日

参加企業数 6社

参加学生数 9人

(イ) 合同企業説明会

開催日 10月13日

参加企業数 20社

参加者数 81人

ウ IoT先進企業視察見学会

開催日 10月20日

視察場所 武州工業株式会社 青梅本社工場

参加者数 17人

エ ポータルサイト運営事業 掲載企業数44社

12 食品放射性物質検査事業

業者委託により検査を実施し、消費者の食に対する安心・安全の確保に寄与した。

(1) 検査内容 食材中の放射性物質（セシウム134とセシウム137）の濃度を測定

(2) 実施期間 平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(3) 検査対象 市内小中学校・保育園・幼稚園・農産物直売所

(4) 検査検体数 332検体

(5) 検査結果

ア 不検出 332件

イ 検出 0件

※ 検出限界値（各測定における検出可能な最小数値のこと）未満の場合には不検出となる。

13 サイバーセキュリティに関する協定締結

あきる野市、檜原村内に所在する中小企業におけるサイバーセキュリティの意識の向上及びサイバー犯罪による被害の防止を図ることを目的として平成30年1月19日に締結した。

14 あきる野市商店街振興プラン行動計画（あきる野市商店街振興プラン行動計画検討委員会）

あきる野市商店街振興プランについて、あきる野市総合計画の改定時期に当たる平成32

（2020）年度まで継続とし、より具体的かつ実効的な取組を進めるため、あきる野市商店街振興プラン行動計画検討委員会において検討を行った。

(1) 委員数 20人

(2) 開催状況

	開催日	議題等
第1回	平成29年11月22日	・あきる野市商店街振興プランについて ・行動計画の内容について
第2回	平成30年 2月15日	・行動計画（案）について ・各団体の平成29年度事業について
第3回	平成30年 3月27日	・行動計画（素案）について ・各団体の平成30年度事業について

1 観光事業

(1) 観光普及と宣伝事業

観光関係雑誌、新聞等による紹介・宣伝

各種行事及び市内観光施設等について雑誌等を利用し、紹介・宣伝した。

観光関係雑誌等への掲載により、更に広い範囲にあきる野観光を宣伝し、認知度を向上させることができた。

(2) 観光客誘致促進事業（市後援事業）

ア 第33回あきる野映画祭

開催日	平成29年7月22日、28日～30日
場所	まほろばホール、五日市会館
内容	公募作品の上映、一般作品の上映、ゲストトークショー
入場者数	延べ2,031人

イ 知のミュージアム多摩・武蔵野検定

開催日	平成29年11月19日
場所	明星大学23号館
内容	多摩・武蔵野に関する事柄について試験を実施
受験者数	41人

2 観光施設美化整備事業及び観光施設維持管理事業

秋川渓谷に係る観光施設等の美化及び維持管理をし、観光資源としての継続的な保存や景観整備を図ることができた。また、観光ルートの整備によって、眺望を確保し、より魅力的なルートとすることができた。

(1) トイレ整備事業

市内37か所の観光用トイレの維持管理及び清掃を各種団体等に委託して行った。

また、東京都の補助金を活用して観光用トイレを新設するとともに、夏季期間のみ河川沿いに仮設トイレを1基設置した。さらに、老朽化の進む施設について改修工事及び補修を行い、観光客の利便性の向上を図った。

(2) 観光ルート整備事業

来訪者の周遊性向上及び地域の魅力発信を図るため、観光ルート整備事業として、「秋川渓谷観光用誘導標識整備計画」を策定した。また、老朽化した誘導標識10基を改修し、英語標記を追記することで訪日外国人旅行者への受入れ環境整備を行った。

(3) 観光施設修景整備事業

観光ルートの修景整備事業として、石舟橋周辺の草刈り及び枝打ちを行い魅力の向上を図った。



### 3 指定管理者による管理

指定管理者の能力を活用し、市民等に対する観光行政サービスの効果及び効率を高めることができた。

#### (1) 観光施設

施設名	指定期間	指定管理者	利用者数
秋川橋河川公園	平成29年4月1日～ 平成32年3月31日	一般社団法人 あきる野市観光協会	約57,700
第1水辺公園 リバーサイドパークの谷			約2,600
第4水辺公園 秋川ふれあいランド			約8,600

#### (2) 十里木・長岳観光施設

施設名	指定期間	指定管理者	温泉利用者数
秋川溪谷瀬音の湯	平成27年4月1日～ 平成32年3月31日	新四季創造株式会社	241,770

#### (3) 戸倉体験研修センター

施設名	指定期間	指定管理者	利用者数	
			体験	
秋川溪谷 戸倉体験研修センター	平成27年10月1日～ 平成30年3月31日	新四季創造 株式会社	体験	701
			宿泊	1,681
			飲食	11,578
			研修室	3,805
			見学等	3,272
				21,037

### 4 ふるさと工房運営事業

紙漉き体験や講習会を実施することにより、市の伝統工芸である「軍道紙」の保存伝承及びPRをすることができた。

(1) 小学校体験学習件数 32校(市内7校、市外25校) 2,322人

(2) 中学校体験学習件数 1校(市外) 17人

(3) 高等学校体験学習件数 1校(都立) 30人

(4) 軍道紙保存会への保存伝承事業委託料 9,067,000円

#### (5) 軍道紙紙漉き講習会の実施

紙漉き体験で半紙やハガキを参加者に作成してもらった講習会を行った。手漉き和紙の伝統文化の理解及び郷土愛の醸成につながり、後継者育成の足掛かりとなった。

ア 実施期間 平成30年3月7日

イ 実施回数 1回

ウ 受講者数 12人(市民11名、市外1名)

#### (6) イベントにおけるPR活動

	イベント名	開催日
1	あきる野市産業祭	平成29年11月11日、12日
2	ツーリズムEXPOジャパン	平成29年9月23日～9月25日

観光まちづくり推進課 秋川溪谷観光係

1 秋川溪谷観光推進事業

秋川溪谷を活用した観光推進を図るとともに、五日市地域の自然、歴史文化などの地域資源を活用した地域振興策を展開し、観光客の誘客と地域の活性化を図ることができた。

観光客の受入れに際し、観光ボランティアガイドの活発な活動により、おもてなし体制を確立することができた。

(1) 観光ボランティアガイド事業

武蔵五日市駅前において、土曜日、日曜日及び祝日の午前中（8月を除く。）合計59日、観光ボランティアガイドによる観光案内を実施した。

ア 案内件数 51組130人（4月から11月まで）※ 8月を除く。

イ ブースでの観光案内 5,464人

ウ 観光ボランティアガイド研修会

研修会 5回開催（4月20日、5月17日、7月18日、9月15日、12月1日）

エ 観光ボランティアガイドツアーの実施 合計4回実施

(ア) 春の花めぐりツアー

開催日	平成29年4月8日
コース	武蔵五日市駅～都立小峰公園～小庄の桜～秋川溪谷戸倉体験研修センター～光厳寺～星竹みち～一穂のこんにやく池谷～石舟橋～秋川溪谷瀬音の湯～龍珠院（約11km）
内容	春の秋川溪谷を観光ボランティアガイドの解説で巡る。
イベント参加者	25人（全日12人、午前のみ13人）（従事ガイド7人）

(イ) 初夏を感じるあじさい山めぐりツアー

開催日	平成29年6月24日
コース	武蔵五日市駅～まいまい坂～穴沢天神社～南沢あじさい山（登山道）～琴平神社～（一穂のこんにやく池谷）～秋川溪谷瀬音の湯（約10km）
内容	南沢あじさい山を中心に観光ボランティアガイドの解説で巡る。
イベント参加者	21人（従事ガイド6人）

(ウ) 歴史文化を感じる紅葉めぐりツアー

開催日	平成29年11月18日
コース	武蔵五日市駅～秋川橋河川公園～阿伎留神社～小和田橋～広徳寺～黒茶屋～戸倉しろやまテラス～子生神社～五日市郷土館～五日市出張所3階展示場（約6.5km）
内容	紅葉の秋川溪谷を観光ボランティアガイドの解説で巡る。
イベント参加者	10人（従事ガイド6人）

(エ) 職員向けモニターツアー

開催日	平成30年1月27日
コース	東秋留駅～二宮神社～八雲神社～森田家住宅～宝清寺～大六天～待合坂～地藏院～秋留野公園～大塚公園～阿伎留の四季（約7.5km）
内容	秋川地区のコースを観光ボランティアガイドの解説で巡る。
イベント参加者	13人（従事ガイド11人）

(2) 観光客誘致促進事業（市後援事業） 合計 9 回開催

ア 第 9 回ハセツネ 30K 大会

開催日	平成 29 年 4 月 2 日
場所	奥多摩山城（スタート・ゴールは秋川溪谷リバーティオ）
内容	奥多摩山城 30.5 km を走る全国規模のトレイルランニング大会

イ 第 9 回ハセツネ 30K 大会春のグリーンフェスティバル

開催日	平成 29 年 4 月 8 日
場所	秋川溪谷リバーティオを起点・終点に奥多摩全山 30.5 km
内容	奥多摩全山の清掃、五日市地域河川敷の清掃、植林、下草刈り、伐採など

ウ 小峰ふれあい自然郷さくら山祭り 2017

開催日	平成 29 年 4 月 8 日
場所	都立小峰公園（ふれあい広場、小峰ビジターセンター）
内容	燗子、食べ物屋台、のらぼう菜試食会、里山クラフト体験の実施など

エ あきる野トレイルウォーク

開催期間	平成 29 年 5 月 28 日
場所	秋川橋河川公園、五日市ひろば等
内容	規定コースのウォーキング

オ 秋川組曲音楽会

開催期間	平成 29 年 11 月 11 日
場所	秋川キララホール
内容	「秋川組曲」の演奏会

カ いやしのえ in 廣濟寺～満月を愛でる会

開催期間	平成 29 年 10 月 6 日、7 日
場所	廣濟寺
内容	ヨガ体験、ワークショップ等

キ 第 25 回日本山岳耐久レース

開催期間	平成 29 年 10 月 8 日、9 日
場所	奥多摩山城（スタート・ゴールは五日市中学校）
内容	奥多摩山城 71.5 km を走る全国規模のトレイルランニング大会

ク あきる野の奏で in 戸倉しろやまテラス - 夢の続きをもう一度 -

開催期間	平成 29 年 11 月 25 日
場所	秋川溪谷戸倉体験研修センター
内容	野外音楽フェスティバル（出演：DREAMING MONSTER）

ケ 武蔵五日市七福神めぐり

開催期間	平成 30 年 1 月 1 日～31 日
場所	五日市地区の寺院
内容	七福神のお寺を徒歩で回る。

(3) 広域観光まちづくり事業（市町村実施事業）

あきる野市、日の出町及び檜原村の共同事業として、3 市町村の観光の魅力を紹介して誘客に結びつける PR 用ポスターの秋号及び春号をそれぞれ 800 部作成し、JR 東日本八王子支社管内の主な駅及び市内各所に掲出・宣伝した。

(4) 秋川溪谷 Wi-Fi 整備

平成 27 年度に整備した公衆無線 LAN 「Akigawa Keikoku Free Wi-Fi」について、引き続きインターネットサービスを提供した。また、同公衆無線 LAN サービスを提供する民間事業者を募集し、4 店舗がサービス提供をしている。

アクセス回数（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

14か所合計 40,511アクセス

(5) 観光用デジタルサイネージ整備

平成27年度に整備した多言語対応のデジタルサイネージ（電子看板）について、季節ごとの観光PR動画の配信やイベント告知等に活用し、観光情報発信を行った。平成29年度は、32個の新規コンテンツの追加及び災害時用のメッセージ画面の翻訳を行った。

(6) 広域連携事業

ア 「高尾山・リニア」地区広域連携事業

八王子市、大月市、都留市、相模原市及びあきる野市の5市で連絡会を組織し、欧米豪を中心とした訪日外国人旅行者の誘客促進を図った。

(ア) 市場調査事業

5市における訪日外国人旅行者の現状を把握し、プロモーション事業施策の基礎資料として活用するための実態調査を行った。

(イ) モニターツアー

欧米豪の外国人をモニターとして連携5市の観光資源を巡るツアーを実施することで訪日外国人旅行者の志向・動向を把握し、新たな観光資源の造成や周遊ルートの開発を行った。

イ 多摩地域観光資源広域活用協議会

多摩地区で酒造のある青梅市、福生市及び東村山市と連携することにより、観光資源である日本酒を広域的に活用し、一体的なプロモーションを行うことで、観光振興及び消費拡大を図った。

「東京SAKE旅」パンフレットの作成

日本語版 20,000部

配布場所 4市酒蔵や各市公共施設、都内観光情報センター等

2 秋川溪谷観光プロモーション事業

「秋川溪谷の魅力」を伝える観光プロモーションを展開し、秋川溪谷のブランド化を図ることができた。

秋川溪谷を訪れる旅行者が利用する交通に係る事業者との連携によって、様々な宣伝媒体で「秋川溪谷」を<sup>でんぱ</sup>伝播した。また、市内の関係団体との協力体制を強固なものにし、観光プロモーションを展開する基盤づくりを進めることができた。

(1) 民間事業者との連携による観光プロモーション事業

交通に係る事業者と連携し、観光プロモーションを展開した。

ア 秋川溪谷観光関係機関連絡会との連携事業

(ア) 観光プロモーションイベント「カワライフ2017ー森のめぐみー」の開催

開催日	平成29年10月25日
場所	東京スカイツリータウンソラマチひろば、地下3階押上駅連絡通路
参加者	あきる野市観光協会、あきる野商工会、東京サマーランド、秋川溪谷瀬音の湯など（35人）
内容	森っこサンちゃんのグリーティングや観光パンフレット等の配布、特産品販売ブース、クラフト出店などによる観光PR活動
配布物	観光パンフレットなど（2,500セット）

(イ) 観光プロモーションイベント「カワライフ2018—森のめばえ—」の開催

開催日	平成30年2月24日
場所	三井ショッピングパークららぽーと海老名 1階 丸の内CAFÉ会前広場
参加者	あきる野市観光協会、あきる野商工会、東京サマーランド、秋川溪谷瀬音の湯など(27人)
内容	森っこサンちゃんのグリーティングや観光パンフレット等の配布などによる観光PR活動
配布物	観光パンフレットなど(2,000セット)

イ 一般社団法人日本自動車連盟(JAF)との連携事業

(ア) JAFデー等イベントの開催

開催日	平成29年5月14日(JAFデー)、11月19日(JAFデー) 平成30年1月13日(JAFデー)
場所	東京サマーランド、みつばちファーム
内容	観光パンフレット配布、森っこサンちゃんグリーディング、VR体験

(イ) 宣伝媒体等による観光PR

No.	発行・放送年月	媒体	内容
1	平成29年 6月	雑誌	JAF Mate(秋川国際マス釣場)

ウ 東日本旅客鉄道株式会社(JR)との連携事業

観光キャラバンの実施

JR中央線の駅頭において、森っこサンちゃんのグリーティングや観光パンフレット等の配布を市内事業者と協働で実施した。

開催日	平成29年6月29日
場所	JR吉祥寺駅、三鷹駅
参加者	あきる野市観光協会、あきる野商工会、東京サマーランド、秋川溪谷瀬音の湯など(29人)
内容	森っこサンちゃんのグリーティングや観光パンフレット等の配布などによる観光PR活動
配布物	観光パンフレットなど(1,500セット)

エ トヨタ西東京カローラ株式会社との連携

秋川溪谷観光プロモーションの一環としてイベント開催支援及び観光PRを目的とした協力をし、官民協働による事業を実施した。

(ア) イベント開催の連携

「トヨタ西東京カローラ遠乗会 Ver.86 2nd」の協力

開催日	平成29年6月18日
場所	戸倉しろやまテラス
内容	ツーリングの最終地点として戸倉しろやまテラスでの食事、講習会の実施等
イベント参加者	西東京カローラユーザー52人

(イ) 観光PRの連携

継続的な事業として、トヨタ西東京カローラ株式会社の全29店舗において、秋川溪谷のリーフレットを配置した。

(2) イベント出展等による観光誘客事業

ア 「東京観光情報コーナー」展示

開催日	平成29年11月1日~15日
場所	都庁第一本庁舎1階南側 東京観光情報コーナー
内容	観光パンフレットの配布、ポスター展示、秋川溪谷DVD放映

イ 港区ちいき百貨展展示

開催日	平成29年6月、7月
場所	港区エコプラザ、港区商工会館
内容	観光パンフレットの配布、特産品の展示

(3) 観光関係雑誌、新聞等による紹介・宣伝

各種行事、市内観光施設等について雑誌等を利用し、紹介・宣伝した。

ア 媒体別

媒体	回数
地域情報誌	28
フリーペーパー	10
書籍	7
新聞	19
WEB	38
テレビ	3
合計	105

イ 紙媒体

No.	発行年月日	媒体	メディア名称・番組名称
1	平成29年 4月発行	フリーペーパー	大多摩ガイドマップ
2	4月 1日	地域情報誌	あきる野便り4月号
3	4月発行	地域情報誌	広報たまちいき4月号
4	4月発行	フリーペーパー	共済通信4月号
5	4月10日	地域情報誌	よみうりサンタマリア
6	4月14日	新聞	西の風新聞
7	4月20日	書籍	旅の手帖MOOK「親子でおでかけ」
8	5月発行	地域情報誌	広報たまちいき5月号
9	4月27日	地域情報誌	街プレ（西多摩版）
10	4月29日	新聞	毎日新聞
11	5月11日	地域情報誌	アサココ（朝日新聞折込）
12	5月 7日	地域情報誌	あきる野便り5月号
13	5月発行	地域情報誌	ショッパー5月号（八王子中央・日野）
14	5月16日	新聞	読売新聞
15	5月19日	新聞	西の風新聞
16	5月25日	地域情報誌	街プレ（西多摩版）
17	5月31日	新聞	信濃毎日新聞
18	6月 3日	地域情報誌	あきる野便り6月号
19	6月22日	新聞	東京新聞 首都圏版
20	6月22日	地域情報誌	街プレ（西多摩版）
21	6月25日	新聞	読売新聞
22	7月発行	新聞	西の風新聞
23	7月 1日	地域情報誌	広報たまちいき7月号
24	7月 2日	地域情報誌	あきる野便り7月号
25	7月 3日	新聞	サンケイスポーツ新聞
26	7月14日	新聞	西の風新聞
27	7月14日	新聞	西多摩新聞
28	7月15日	新聞	サンケイスポーツ
29	7月20日	新聞	サンケイスポーツ
30	7月20日	地域情報誌	アサココ（朝日新聞折込）
31	7月27日	地域情報誌	街プレ（西多摩版）

No.	発行年月日	媒体	メディア名称・番組名称
32	平成29年 8月1日	地域情報誌	広報たまちいき8月号
33	8月10日	地域情報誌	街ブレ(西多摩版)
34	8月25日	新聞	毎日新聞
35	9月発行	フリーペーパー	大多摩四季報(秋号)
36	9月2日	地域情報誌	あきる野便り8月号
37	9月15日	書籍	首都圏発 大人の小さな旅 美食ドライブ
38	10月1日	フリーペーパー	ぐるり39～自治調査会だより～
39	10月2日	新聞	公明新聞
40	10月1日	地域情報誌	あきる野便り10月号
41	10月4日	フリーペーパー	全国交流物産展 in 新橋
42	10月発行	フリーペーパー	野村不動産アーバンネットチラシ
43	11月5日	地域情報誌	あきる野便り11月号
44	11月17日	地域情報誌	西の風新聞
45	12月1日	地域情報誌	広報たまちいき12月号
46	12月3日	地域情報誌	あきる野便り
47	12月5日	新聞	読売新聞
48	12月9日	新聞	読売新聞
49	12月19日	新聞	毎日新聞
50	12月28日	地域情報誌	街ブレ(西多摩版)
51	12月28日	書籍	旅行読売
52	平成30年 1月1日	地域情報誌	西の風新聞
53	1月7日	地域情報誌	広報たまちいき1月号
54	1月11日	書籍	東京新聞 朝刊
55	1月25日	新聞	読売新聞夕刊
56	2月4日	地域情報誌	広報たまちいき2月号
57	2月7日	書籍	地球の歩き方「GOOD LUCK TRIP around TOKYO」
58	2月23日	書籍	あんふあん「多摩の魅力発信プロジェクト」
59	2月23日	フリーペーパー	望星(東海大学作成詩)
60	2月28日	フリーペーパー	フォルクスワーゲン mug 2月号
61	3月5日	地域情報誌	あおぞら(地域コミュニケーション紙)
62	3月20日	書籍	につぼん クルマ旅
63	3月発行	フリーペーパー	共済通信3月号
64	3月28日	フリーペーパー	「とうきょうと特産食材使用店」英語版

ウ WEB

No.	掲載年月日	メディア名称
1	平成29年 5月10日	るるぶ.com
2	4月5日	楽笑山歩クラブ
3	6月5日	Yahoo!ニュース
4	6月5日	西多摩経済新聞
5	6月10日	TAMAEbooks
6	7月3日	マイナビトラベル
7	7月3日	楽天トラベル
8	7月10日	日テレNEWS24
9	7月10日	FNNニュース
10	7月12日	ニッポン放送
11	7月24日	JR東日本(武蔵五日市駅)

No.	掲載年月日	メディア名称
12	平成29年 8月 4日	西多摩経済新聞
13	8月 4日	Yahoo!ニュース
14	8月 4日	goo ニュース
15	8月 4日	dmenu ニュース
16	8月 7日	TAMASHIMA.tokyo
17	8月15日	JR 東日本 (武蔵五日市駅)
18	8月15日	全国観るなび
19	8月25日	JR 東日本 (武蔵五日市駅)
20	9月 6日	全国観るなび
21	9月27日	Walkerplus
22	11月 2日	都立秋川丘陵自然公園
23	12月 6日	YOMIURI ONLINE
24	12月10日	るるぶ.com
25	12月28日	AT TAMA Facebook
26	平成30年 1月23日	東京都建設局ホームページ
27	2月 2日	GO TOKYO イベントページ
28	2月27日	青梅五日市線の旅2018春号のWEB ページ
29	3月 8日	イマ×タマ
30	3月12日	GO TOKYO イベントページ
31	3月12日	GO TOKYO イベントページ
32	3月12日	GO TOKYO イベントページ
33	3月12日	GO TOKYO イベントページ
34	3月14日	のらぼうまつり
35	3月14日	Yahoo!ニュース
36	3月14日	goo ニュース
37	3月20日	dmenu ニュース
38	3月20日	西多摩経済新聞 Facebook

#### エ テレビ

No.	放送年月日	局名	番組名称
1	平成29年 7月 1日	J:COM テレビ	～週間シティプロモーション～ご当地サ タデー♪
2	7月12日	ニッポン放送 (AM1242)	あけの語りびと
3	7月29日	日本テレビ	ぶらり途中下車の旅
4	9月 1日	テレビ東京	よじごじ Days

#### (4) SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) の活用

##### ア あきる野市観光情報 Facebook ページ統計データ

(ア) 期 間 平成29年4月1日～平成30年3月31日 (365日)

(イ) 投稿回数 76回 (1週当たり平均約1.5回投稿) ※ 1年間を52週とする。

(ウ) 各投稿の平均閲覧回数 約6,168回 (複数回閲覧者含む。)

(エ) 各投稿の合計閲覧回数 468,760回 (複数回閲覧者含む。)

(オ) 各投稿の平均閲覧人数 約3,296人 (ファン以外を含む。)

(カ) 各投稿の合計閲覧人数 250,528人 (ファン以外を含む。)

※ 各投稿の平均は、合計の閲覧回数・閲覧人数から算出

(キ) ファン数 2,444人 (平成30年3月31日現在)

※ 平成29年3月31日時点は、2,216人



イ 秋川溪谷LINE@アカウント

(ア) 期 間 平成29年4月1日～平成30年3月31日(365日間)

(イ) ホーム投稿回数 70回(1週当たり平均1.3回投稿)

(ウ) メッセージ配信回数 32回(1週当たり平均約0.6回発信)

(エ) 各発信の平均閲覧回数 約71回(複数回閲覧者含む。)

(オ) 各発信の合計閲覧回数 4,960回(複数回閲覧者含む。)

※ 各発信の平均及び合計の閲覧回数・閲覧人数は、投稿・配信日の数字から算出

(カ) 友達数 2,121人(平成30年3月31日現在)※ うち有効友達数1,256人

(5) 観光パンフレット等の作成

「東京のふるさと・あきる野」の魅力を市内外に発信するため、観光パンフレット等を作成した。

ア 秋川溪谷リーフレット(日本語) 春夏版30,000部、秋冬版30,000部

イ 秋川溪谷リーフレット(英語) 20,000部

(6) 秋川溪谷観光デジタルフォトコンテスト

秋川溪谷を中心とした画像を募集し、広く発信する市民参加型のイベントとして、フォトコンテストを2回開催した。また、応募作品の一部を秋川溪谷の魅力発信のため「秋川溪谷総合マップ」「秋川溪谷四季リーフレット」の写真データとして使用した。

ア 第6回(春・夏の部)

(ア) 応募期間 平成29年6月15日から平成29年8月31日まで

(イ) 応募作品 92作品

(ウ) 受 賞 金賞1点、銀賞1点、特別賞2点

イ 第7回(秋・冬の部)

(ア) 応募期間 平成29年11月15日から平成30年2月28日まで

(イ) 応募作品 73作品

(ウ) 受 賞 金賞1点、銀賞1点、特別賞2点

(7) 秋川溪谷ロゴマークの活用

「東京のふるさと・あきる野」の実現に向けた観光まちづくりの取組として、秋川溪谷を広くPRするため、秋川溪谷ロゴマークを定め、活用を図った。

ア ロゴマークの使用承認

団体・事業者が商品等に掲載した。

(ア) 使用申請 5件

(イ) 使用承認 5件

イ 啓発用品の掲出・配布

ロゴマークを刷り込んだ啓発用品を掲出・配布した。

(ア) タペストリー JR武蔵五日市駅から小中野交差点までの檜原街道沿いに掲出

(イ) のぼり旗・ミニのぼり旗 公共施設、観光施設等に掲出

(ウ) ステッカー イベント等で配布、市庁用自動車に貼付

(エ) マグネットシート 市庁用自動車に貼付

(オ) 秋川溪谷ロゴ入りポロシャツ 85枚販売

(8) 「森っこサンちゃん」LINEスタンプ製作

LINEアカウント「秋川溪谷」を活用し、秋川溪谷観光プロモーションを推進するためLINEのコンテンツであるスタンプ内で、森っこサンちゃんのオリジナルLINEスタンプを販売した。

ア 販売開始日 平成27年9月18日

イ LINEスタンプ販売数

平成27年度 791ダウンロード(25,187円)

平成28年度 248ダウンロード(7,559円)

平成29年度 244ダウンロード(7,347円)

合計 1,283ダウンロード(40,123円)

ウ LINEスタンプ使用数(受信総数)

244,341件

3 秋川溪谷観光施設維持管理事業

秋川溪谷に係る観光施設等を維持管理し、観光資源としての継続的な保存や景観整備を図ることができた。また、観光ルートの整備によって、眺望を確保し、より魅力的なルートとすることができた。

武蔵五日市駅前観光情報コーナーの運営管理

秋川溪谷観光の玄関口であるJR武蔵五日市駅の改札外に観光資源の魅力発信拠点として設置した「武蔵五日市駅前観光情報コーナー」において、観光パンフレット等の配架や秋川溪谷Wi-Fiの提供、デジタルサイネージによる多言語情報の発信を行うことで、外国人観光客の受入れ環境整備を図るとともに、観光ボランティアガイドの活動拠点として活用した。

4 秋川流域ジオパーク推進事業

秋川流域は、緑と清流に恵まれ、歴史と文化が育まれた大地の中に、古生代から新生代にかけての8つの地層がまとまった形で分布しており、それぞれの地層からは、ステゴドンゾウを始め、海や陸に生きた生物の化石が数多く発見されていることから、化石の宝庫といえる全国でも有数の地域である。

このような貴重な大地と自然、文化を活用して、観光や商業など、地域の活性化を目指すため、秋川流域3市町村が連携して設置した「秋川流域ジオパーク推進会議」により、取組を進めている。

平成28年度に組織された、あきりゅうジオの会及びツーリズム部会が引き続き積極的な活動を実施し、地域のジオ資源を活かしたツーリズム事業の推進を図ることができた。

(1) 秋川流域ジオパーク推進会議の開催等 合計5回開催

秋川流域ジオパーク構想を推進するため、秋川流域ジオパーク推進会議および関係者による会議等を開催した。

開催日	内容
平成29年 7月10日	1 平成28年度活動報告及び決算報告について 2 平成29年度活動計画(案)及び予算(案)について、今後の方針検討体制について
7月24日	事務局会議 今後の方針等について
10月18日	第1回代表者会議 今後の方針等について

開催日	内容
平成30年 3月 6日	飯能市エコツーリズム推進協議会視察研修 ガイドツアー体験、エコツーリズムの取組に関する講義
3月27日	第2回代表者会議 今後の方針等について

(2) あきりゅうジオの会による活動 合計12回実施

ア 毎月講師を招いた学習会等と会員向けの全体会を併せて実施し、会員等の知識の向上を図った。

開催日(会議)	内容
平成29年 4月11日	学習会 講師 東京裏山ベース代表 神野 賢二 氏 テーマ 「東京裏山ベース」という舞台装置～みんなの拠点づくりから始まるプロジェクト 全体会 2017年度あきりゅうジオの会活動方針、「あきりゅうジオの会会員証」の配布
5月 9日	学習会 講師 秋川流域ジオパーク推進会議 委員 竹内 英二 氏 テーマ 第四紀の学習会 全体会 新しいパンフレット、ジオの会チラシ、前半のジオツアー、9月・10月講師について
6月13日	学習会 講師 秋川流域ジオパーク推進会議 代表 長田 敏明 氏 テーマ フォッサマグナ南東部周辺の第四紀の地形発達史ーとくに多摩丘陵と五日市盆地地域について 全体会 新しいパンフレット、9月・10月の全体会について
7月11日	学習会 講師 秋川流域ジオパーク推進会議 委員 青谷 知己 氏 テーマ 秋川流域の大地の七不思議-わかったことわからないこと 全体会 新パンフレットの作成進捗状況、10月学習会の開催日・講師、戸倉情報室の会議や資料作成のための利用について
8月 8日	学習会 講師 秋川流域ジオパーク推進会議 委員 有馬 貴之 氏 テーマ ジオパークは地域でどのように活用されるべきか 全体会 視察研修について
9月14日	学習会 講師 角田 清美 氏 テーマ 秋留大地と湧水について 全体会 旧B班地域の取扱い、視察研修、地学団体研究会・埼玉日曜地学の会共催イベントについて
10月17日	学習会 講師 産業技術総合研究所地質標本館 元館長 青木 正博 氏 テーマ 石に惹かれて時空を翔ける 全体会 新しいパンフレットの内容、共催イベントスタッフ、産業祭出展について

開催日(会議)	内 容
平成29年11月14日	研究発表会 演者 あきりゅうジオの会A班 あきりゅうジオの会C班 テーマ 神谷マンガン鉱山跡と檜原風穴研究その2 謎の地質帯黒瀬川帯の紹介 全体会 秩父視察研修、新パンフレット、第1回代表者会議報告について
12月12日	研究発表会 演者 あきりゅうジオの会D班 あきりゅうジオの会F班 テーマ 戸倉八王子古道一御嶽詣で道の研究 秋留台の原風景～台地の形成と掘り起こされたふるりの歴史 全体会 秩父視察研修、来年度学習会テーマ等について
平成30年 1月16日	ジオツアー報告会 講師 あきりゅうジオの会各班 テーマ 本年度実施したガイドツアー概要について 全体会 秩父視察研修実施要項、あきりゅうジオの会発行パンフレットについて
2月20日	研究発表会 演者 あきりゅうジオの会E班 テーマ 三内川の研究 全体会 あきりゅうジオの会発行パンフレット、秩父視察研修、3月全体会と懇親会について
3月13日	あきりゅうジオの会第2回総会

イ 秋川流域を6ブロックに分け、そのうち5ブロック(班)について、一般公募のガイドツアーを各班2回実施した。合計10回実施

開催日(ツアー)	内 容
平成29年 5月17日	A班ガイドツアー「新緑の三頭山を登ろう:石英閃緑岩・ホルンフェルス山」
6月10日	C班ガイドツアー「謎の地質見学ツアー 黒瀬川帯の謎に迫る！」
6月17日	F班ガイドツアー「秋留台地の風景～地形と湧水と遺跡と～」
7月 8日	D班ガイドツアー「檜原村一番地への旅-日本列島の骨格構造と檜原村の歴史」
7月16日	E班ガイドツアー「不思議なチャート洞・網代弁天洞窟と秋川の石調べ」
10月 8日	F班ガイドツアー「川は偉大な彫刻家 河岸段丘ぶら歩き」
10月14日	D班ガイドツアー「戸倉城山と戸倉・星竹の歴史探訪」
11月19日	A班ガイドツアー「紅葉の三頭山の森を歩こう」
11月25日	C班ガイドツアー「東京の大地の付け根を歩いてみよう！」
12月 3日	E班ガイドツアー「ジオ五日市-日本列島の1500万年を探る」

(3) PR事業・視察対応等 合計10回実施

流域住民への周知を図るため、地域の各種イベント等に参加し、PR活動を実施した。  
また、他団体からの要請に応じて、視察対応や講演会を実施した。

開催日	内 容
平成29年 4月28日	講演会① 「多摩の大地(ジオ)の魅力」
4月29日	講演会② 「準会員という立場からみたジオパークと地学教育に期待すること」

開催日	内容
平成29年 6月 6日	視察対応① 秩父まるごとジオパーク推進協議会（秩父市大学講座受講生） 戸倉しろやまテラス、石舟橋周辺（秋川溪谷瀬音の湯）、山抱きの大榎、みつばちファーム
7月21日	視察対応② 江戸川区子ども未来館 落合橋下河川敷、戸倉ジオ情報室
8月19日 20日	PR事業 払沢の滝ふるさと夏まつり 檜原村小学校校庭
11月 4日 5日	PR事業 日の出町産業まつり 日の出町民グラウンド
11月11日 12日	PR事業 あきる野市産業祭 都立秋留台公園
11月18日	PR事業 JAFデー 東京サマーランド
平成30年 2月24日	PR事業 観光プロモーションイベント ららぽーと海老名
3月24日	視察対応③ 日本地理学会 あきる野市五日市周辺

(4) ツーリズム部会による活動 合計12回実施

流域内の地域資源を活用したモニターツアーを実施するとともに、構成員間での課題の共有や視察研修を実施した。

開催日	内容
平成29年 4月14日	第1回部会 ジオスポット選定、一般向け講座、視察研修について
5月17日	第2回部会（一般向け講座プレ開催） ジオスポット候補地巡検、ワークショップについて
6月22日	第3回部会 一般向け講座、マップ内容検討、環境省連携事業、視察研修について
6月28日	第4回部会 MAPデザイン、モニターツアー（環境省連携事業）、視察研修日程について
8月12日	一般向け講座打合せ 第1回講座の開催内容について
8月19日	第1回一般向け講座 滝ガールをゲストにしたトークセッション
9月 5日 6日	視察研修 SATOYAMA EXPERIENCE（榎美ら地球）視察
10月20日	第5回部会 モニターツアー（環境省連携事業）、MAPについて
12月 4日 8日	国立公園とジオパーク連携事業（環境省連携事業）の開催①、② MTBを利用したガイドモニターツアー
12月 8日	第2回一般向け講座 環境省奥多摩自然保護官をゲストに（秩父多摩甲斐）国立公園についてトークセッション
12月18日	国立公園とジオパーク連携事業（環境省連携事業）の開催③ 三つの霊山に囲まれた養沢地区で行う忍者修業モニターツアー
平成30年 1月 5日	第6回部会 H30年度活動計画検討、環境省連携事業総括、MAPについて

(5) 日本ジオパークネットワークとの連携

準会員として日本ジオパークネットワーク（JGN）に加盟していることからJGNの事業に協力するとともに、活動に関連する情報収集を図るため、全国大会等に参加した。

開催日	参加事業
平成29年 5月10日	JGN関東ブロック会議 関東大会、関東ブロック会議の事務局体制について
5月22日	第10回日本ジオパークネットワーク全国研修会 ジオパークと持続可能なまちづくり、ESDに関する講義・ワークショップ
5月23日	ジオパーク新任者研修会 ジオパークの基本的な事項に関する研修
7月31日 ～8月1日	JGN全地域事務局長会議 現状共有と今後について、ツアーの商品化、認定審査について
9月26日	JGN関東ブロック会議 H30年度関東大会、各地域の課題について
10月25日 ～27日	第8回JGN全国大会2017（男鹿半島・大潟大会） 講演、分科会、ジオツアー等開催
平成30年 2月19日	JGN関東ブロック会議 H30年度関東大会事務分担、来年度事務局について

(6) 拠点施設「秋川流域ジオ情報室」の運営

「秋川溪谷戸倉体験研修センター」内3階にある「秋川流域ジオ情報室」について、昨年度に引き続き非常勤職員を3人雇用し、秋川流域に存在する地域資源を紹介する展示物等の作成と解説を実施するなど来訪者の対応を行った。

年間来室者 4, 262人

(7) あきる野市ゆかりの人展

ア 開館日 平成29年4月1日から平成30年3月31日まで（年末年始を除く。）

イ 来場者数 363人（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

5 ふるさと文化創生事業

豊かな自然や歴史に恵まれたあきる野は、時代ごとに様々な分野で活躍する人々を輩出してきた。こうした地域が誇る先人たちの功績を広め、ゆかりの地を観光資源としてPRするために、「あきる野市ゆかりの人パンフレット」及び「五日市憲法草案ゆかりの地を巡るリーフレット」を平成25年度に作成した。平成29年度も引き続き観光キャンペーンや、観光案内所等で配布を重ねるとともに、ゆかりの人展やゆかりの地を巡るイベントを開催し、郷土愛の醸成を図ることができた。

(1) あきる野市ゆかりの人展の開催

あきる野市ゆかりの人11人を紹介するパネル等を展示し、ゆかりの人の功績を広めるとともに、ゆかりの地やその周辺の観光スポットを紹介し、郷土愛の醸成を図ることができた。

ア 開催日 平成29年3月1日から平成29年5月7日まで

イ 場所 秋川溪谷瀬音の湯フロント先通路

ウ 参加者 44, 324人

(2) あきる野市ゆかりの人探訪

「あきる野市ゆかりの人パンフレット」に掲載した散策モデルコースを基に、観光ボランティアガイド事業「歴史文化を感じる紅葉めぐりツアー」コース内にゆかりの地を含めることで、ゆかりの人の功績を広めるとともに、ゆかりの地やその周辺の観光スポットを紹介することで郷土愛の醸成を図ることができた。

ア 開催日 平成29年11月18日

イ 参加者 10人

(3) PR活動 あきる野市ゆかりの人パンフレット配布

ア 開催日 平成29年11月1日から平成29年11月15日まで

イ PR場所 都庁第1本庁舎1階南側 東京観光情報センター内

(4) あきる野の匠事業

あきる野の自然、歴史及び文化から生まれ、先代から受け継がれてきた伝統の味、技法、熟練の技術などの承継者を「あきる野の匠」として新たに2人認定し、あきる野の匠が手掛ける魅力ある商品及びその商品を生み出す優れた匠の技等をあきる野市の内外を問わず広く発信することにより、商品の需要拡大を図るとともに、匠の技等の承継につなげ、もって観光客の増加及び郷土愛の醸成を図ることができた。